

Pioneer

Hi-Fi ワイドプロジェクションディスプレイ
(ワイドクリアビジョン放送識別回路内蔵)

SD-P50EX3

取扱説明書

保証書別添

パイオニアの製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。「安全上のご注意」を最初によくお読みください。
ご使用の際には、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご購入の際には、必ず「保証書」の記入事項をご確認のうえ、大切に保管してください。
後々お役に立つこともありますので「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に大切に保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

図記号について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を記しています。その記号と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

特長

ワイド機能

- 映像にあわせて、自動で最適な画面モードを選ぶフルオートズーム機能
- お好みにあわせて選べる5種類の画面サイズ
- 画面上下移動機能

高画質

- よりクリアな画質を再現する3次元Y/C分離回路
- 肌色補正回路、カラーレンズによる色再現性の向上
- 映像信号を忠実に再現するデジタルシステム

便利機能

- BS留守録画機能
- 映画、スポーツ番組などシーンに応じて選べるAVセレクション

画像焼付きのご注意

テレビゲームやパソコン、または静止画の再生などは、画面焼付きなどの悪影響を与えることがありますので、必ずAVセレクションを「あそびdeゲーム」に設定し（18ページ）、2時間以内のご使用としてください。テレビゲームなどをご使用後は、その時間の3倍以上、通常の放送などをご覧になるようにしてください。放送などの動画は画像焼付きの発生を緩和する効果があり、内部ブラウン管への悪影響が軽減されます。

目次

ご使用になる前に 4

ご使用に際してのお願い 4	リモコンに電池を入れる 5
付属品を確認する 5	正しく設置する 6

各部のなまえ 8

テレビ、BS放送を見る 10

テレビ放送を見るには 10	ハイビジョン放送を見るには 14
BS放送を見るには 12	LD、DVD、ビデオを見るには 15

画質と音質の調整 16

好みの画質に調整する 16	好みの音質に調整する 21
AVセレクションを使う 18	サラウンドを楽しむ 22
見やすい画質にする 19	

便利な機能 24

画面サイズを切り換える 24	BS放送を録画する 29
二カ国語、ステレオ放送を聞くには 27	テレビの電源を自動で切る 30
独立音声放送（セント・ギガ）を聞く 28	

準備・接続 31

VHF/UHFアンテナをつなぐ 32	テレビ（VHF/UHF）の設定変更をする 38
BSアンテナをつなぐ 34	BSの設定変更をする 40
BSデコーダをつなぐ 35	WOWOW、ハイビジョン放送の設定変更をする 42
ハイビジョン放送用コンバータをつなぐ 36	画面の色あわせをする 44
チャンネル自動設定をする 37	他の機器との接続 48

その他 56

用語の説明 56	さくいん 63
メニュー画面 57	仕様 64
自己診断機能について 59	アフタ・サ・ビスについて 65
故障かな？と思ったら 60	

ご使用になる前に

ご使用に際してのお願い

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態で使用すると火災・感電の原因となります。

すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜く

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

テレビとオーディオ機器、ビデオ機器など他の機器と組み合わせて使用の場合は、電源を「切」にしてから接続してください。



注意

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



プラグを抜く

地震などによる転倒を防止するため、ヒートン（フック金具）を壁や柱など強度の高いところに紐でしっかりと結んでください。



警告

テレビを使わないときは

電源を切ってください。FMやAM放送を受信しているとき、テレビの電源が入っていると、受信音に雑音が入ることがあります。

磁気の影響について

- テレビも大型になると、地磁気の影響を受けやすくなります。テレビのそばに磁気の強いものを近づけないでください。
- 大型スピーカーなどは強い磁界により高性能化を図っており、テレビの画像が乱れる原因となります。防磁型以外のスピーカーシステムはテレビから離して設置してください。
- よりハイファイな映像を得るために、「画面の色あわせをする」（44ページ）をおこなってください。

スピーカーグリルについて

スピーカーグリルは外せません。無理に引っぱったりすると、破損の恐れがあります。

保護回路について

ごくまれに「パチッ」と音がして、一瞬電源が切れたり、画が消えることがあります。これは、ブラウン管の管内放電現象を保護回路によって解決するため故障ではありません。

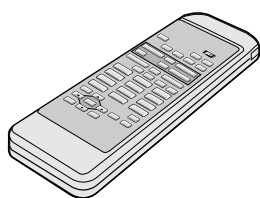
結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合は3時間程放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

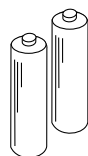
このテレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店・ホテル等において、ワイドモードおよびズームモードなどの画面モードの切り替え機能を利用して、画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法により保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

付属品を確認する

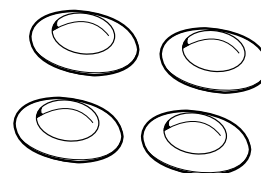
リモートコントロールユニット
(リモコン)



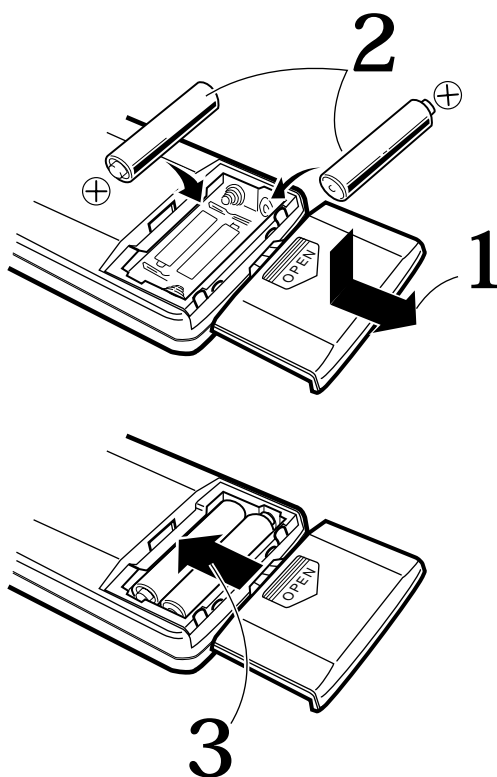
電池 2 本
(単3形乾電池)



キャスター台座 4 個



リモコンに電池を入れる



リモコンの取扱いについて

- リモコンは落としたり濡らしたりしないでください。
- 直射日光または暖房の放射熱の当たるところ、湿気の多いところでは使用しないでください。

リモコンの電池交換について

- 使えなくなった電池はすぐ取り出して処分してください。
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。



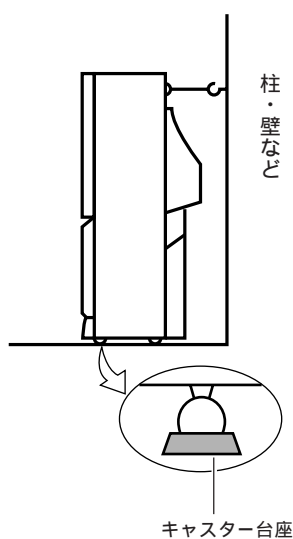
注意

- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池には同じ形状のもので電圧の異なるものがあります。種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1ヶ月)使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
- 付属の電池を充電、ショート、分解したり火中に投入したりしないでください。
- 単3形乾電池(R6P)をご使用ください。

ご使用になる前に

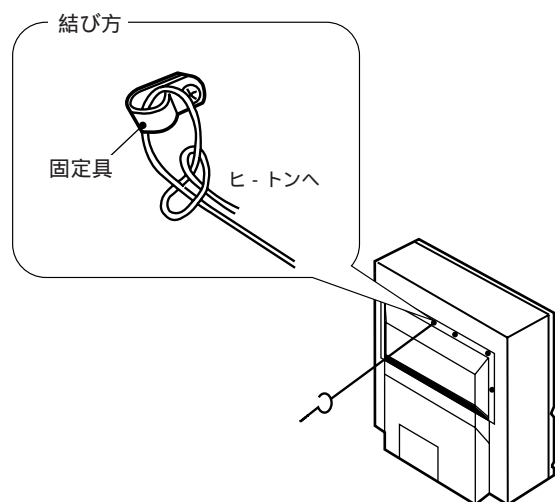
正しく設置する (別紙「安全上のご注意」をご覧ください)

転倒防止について

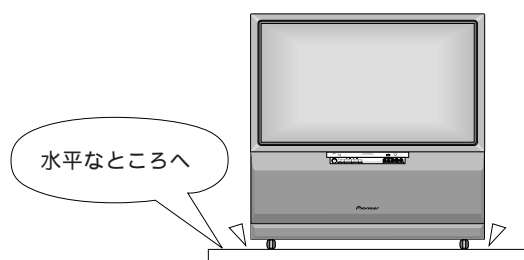


地震などの非常時の安全確保のために、転倒防止の実施をお願いします。

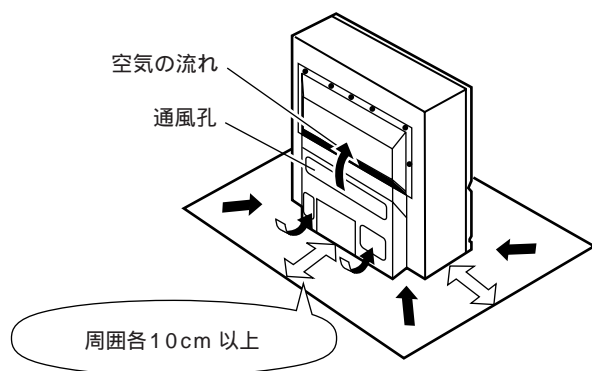
- ヒートン（フック金具）を壁や柱など強度の高いところに取り付けて、紐でしっかりと結んでください。
- 必ずキャスター台座をテレビ本体の4つのキャスターの下にしき、固定してください。
- 移動するときは、紐とキャスター台座にご注意ください。



設置場所



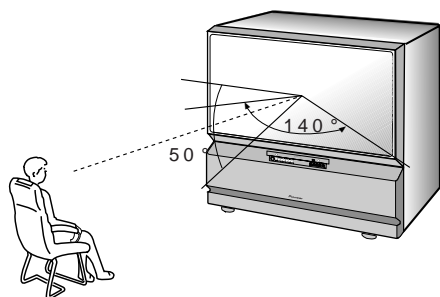
丈夫で水平な安定した所へ



周囲から離して置く

- 通風孔をふさがないように壁などから10cm以上あけてください。
- テレビを設置した場所によっては地磁気の影響で色ずれをおこすことがあります。テレビの設置後、または画面の色がずれているときなどは必ず色あわせを行ってください。(44ページ)
色あわせは、テレビを30分以上ご使用になってから行ってください。
- 通風孔は、本機の底面にもありますので、空気の流れをさまたげないようにご注意ください。

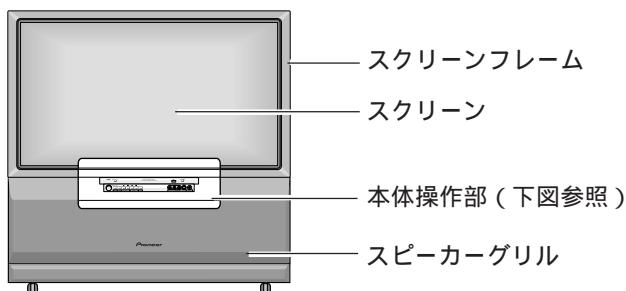
映像をご覧いただける範囲



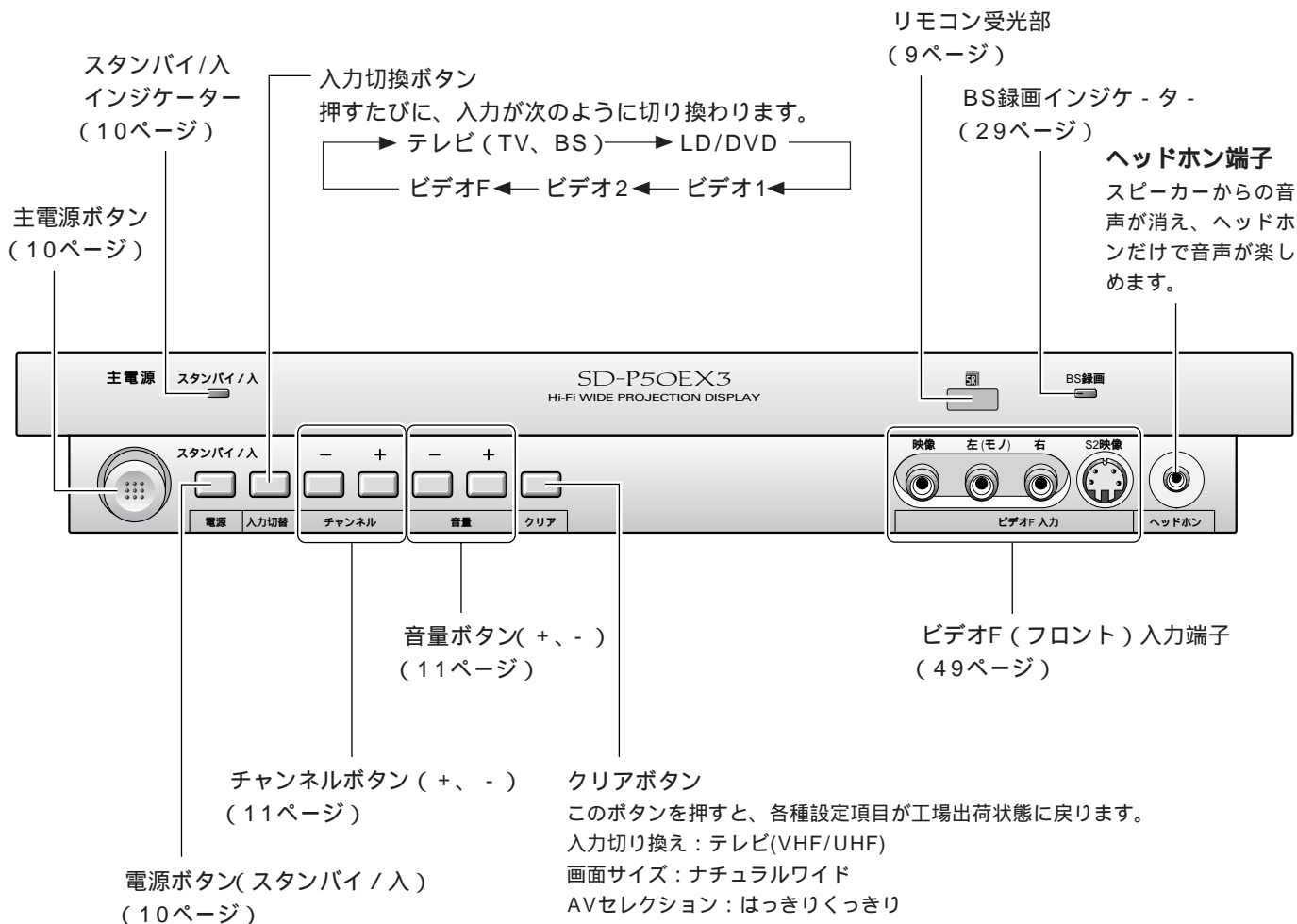
左右に140°以内、上下に50°以内

- テレビをあまり前や斜めからご覧になると、部分的に映像が二重に見えたり、虹模様がでることがあります。
- プロジェクションテレビは、見る位置によって見やすさが多少変わりますので、最適な位置でご覧ください。

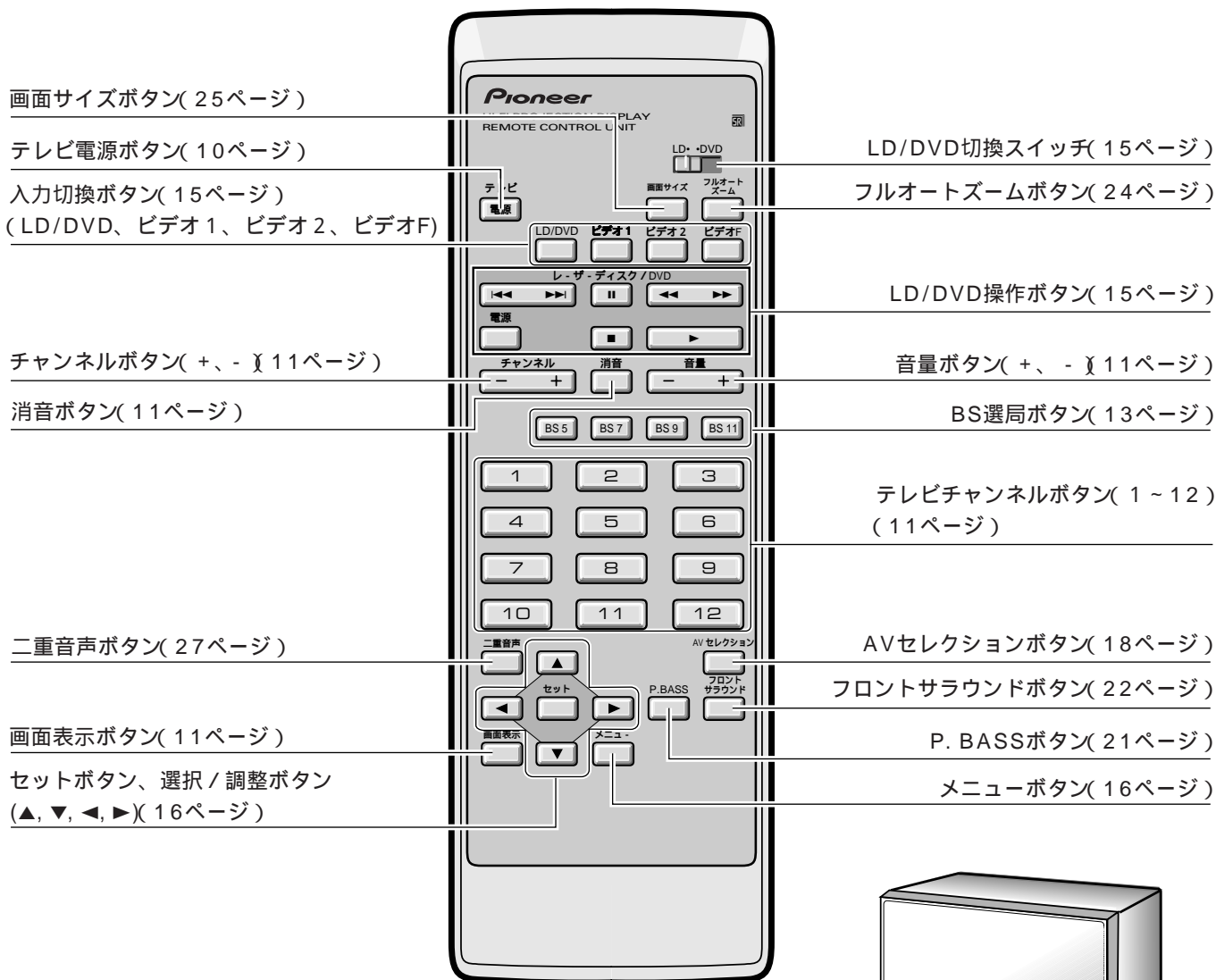
各部のなまえ



操作ドアの開閉のしかた
 ドアの中央上部を軽く押すと開き、
 そっと閉じるとロックします。



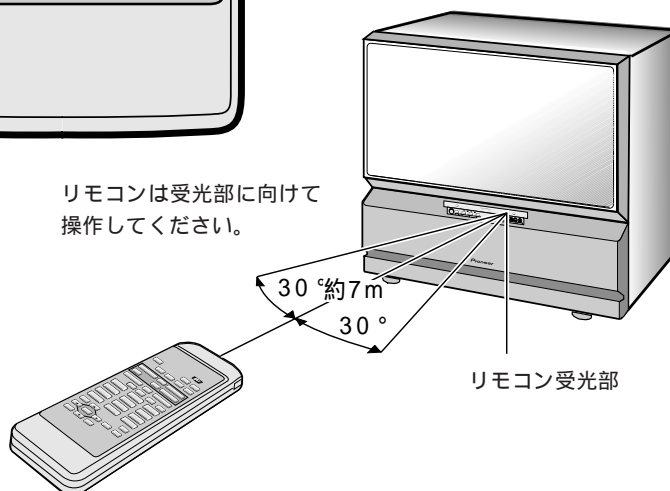
リモートコントロールユニット



リモコンでの操作可能範囲は
本機との距離が約7m以内、画面からみて角度
30度以内です。

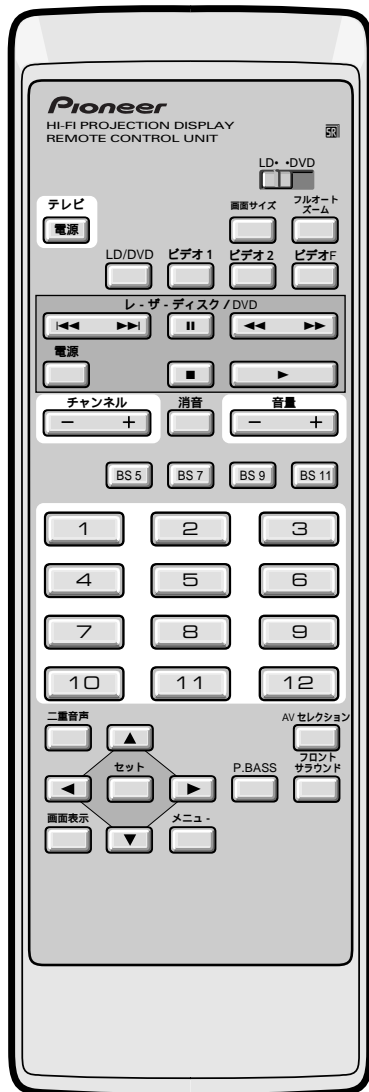
リモコンで動作しにくいとき
リモコンと本機の画面との間に障害物がある
と、動作しないことがあります。
また、電池が消耗した場合は動作できる距離が
徐々に短くなります。(新しい乾電池に交換し
てください。5ページ)

リモコンは受光部に向けて
操作してください。



テレビ放送を見るには

本体



リモコン

操作の前にならず次の接続と準備をしてください。

- ① VHF/UHFアンテナをつなぐ(32、33ページ)。
- ② 電源プラグをつなぐ。

1 本体の  を押す。

本体

スタンバイ/入インジケータが赤く点灯します。



2 リモコンの  (本体の ) を押す。

本体

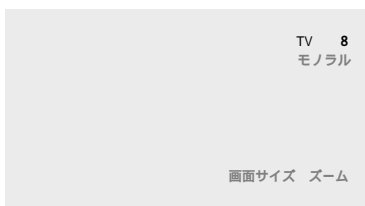
スタンバイ/入インジケータが緑の点灯にかわります。



3 リモコンの **チャンネル** (本体の **チャンネル**) でチャンネルを選ぶ。



リモコンの数字ボタンで選ぶこともできます。設定した13~24チャンネルを選ぶ時は、続けて2回押しします。



例：13チャンネルを選ぶ。

1 を続けて2回押し。

4 リモコンの **音量** (本体の **音量**) で音量を調整する。



5 テレビを消すには、リモコンの **電源** (本体の **スタンバイ/入**) を押す。



画面が消え、スタンバイ/入インジケータが赤の点灯にかかります。



音だけを消したいときは

消音 を押す

もう一度押すと音が出ます。消音ボタンを押して8分たつと、消音状態は自動的に解除されます。このとき音量は0(最小)になるので、突然音が出ることはありません。

見ているチャンネルの番号を知りたいときは

画面表示 を押す

画面にチャンネル番号、AVセレクションやフロントサラウンドの設定状態などが表示され、約2秒後に消えます。

外出するときは、主電源を切ってください。長期にわたって外出される場合は、必ず電源プラグを壁のコンセントから抜いてください。

テレビチャンネルを設定し直すときは

37~39ページをご覧ください。

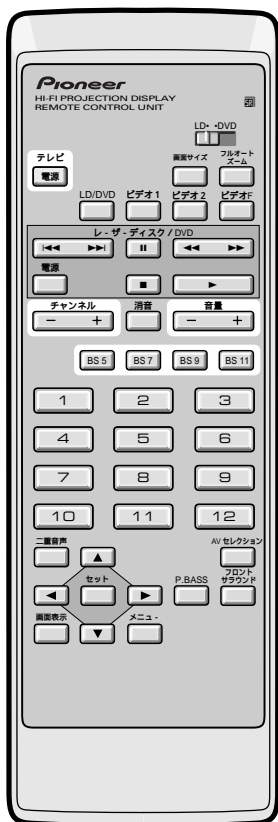
画面の色あわせをするときは

44~47ページをご覧ください。

BS放送を見るには



本体



リモコン

操作の前にならず次の接続と準備をしてください。

- ① BSアンテナをつなぐ(34ページ)。
- ② WOWOW、ハイビジョン放送などを見る場合は、BSデコーダ(ハイビジョン放送用コンバータ)をつなぐ(35、36ページ)。
- ③ 電源プラグをつなぐ。

1 本体の  を押す。

スタンバイ/入インジケータが赤く点灯します。



2 リモコンの  (本体の )を押す。

スタンバイ/入インジケータが緑の点灯にかわります。




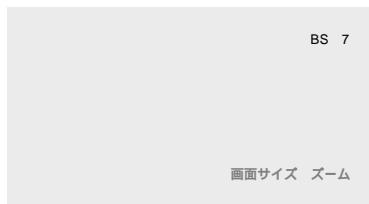
BS放送の音声には、AモードとBモードの2種類があります。放送内容によって、自動的に切り換わります。

Aモードの音質はFM放送と同等で、Bモードの音質はCDなみの高音質です。Aモードでは、独立音声を楽しめます。(28ページ)

画面表示ボタンを押すと、チャンネル番号の下に音声モードが表示されます。(Aモードは表示なし、Bモードは“B”と表示が出ます。)

衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。
これは、気象条件によるものでアンテナやテレビの故障ではありません。

3 リモコンの **BS 5** **BS 7** **BS 9** **BS 11**
(本体の ) でBSチャンネルを選ぶ。



4 リモコンの  (本体の ) で音量を調整する。



5 テレビを消すには、リモコンの **電源** (本体の ) を押す。





画面が消え、スタンバイ/入インジケータが赤の点灯にかわります。



放送されているBSチャンネル
(1999年4月現在)

- BS5 : セント・ギガ サテラビュー
WOWOW/St.GIGA (Satellaview)
(有料放送なので、デコーダの接続が必要です。35ページ)
- BS7 : NHK衛星第1
- BS9 : ハイビジョン実用化試験放送
(MUSE-NTSCコンバータの接続が必要です。36ページ)
- BS11 : NHK衛星第2

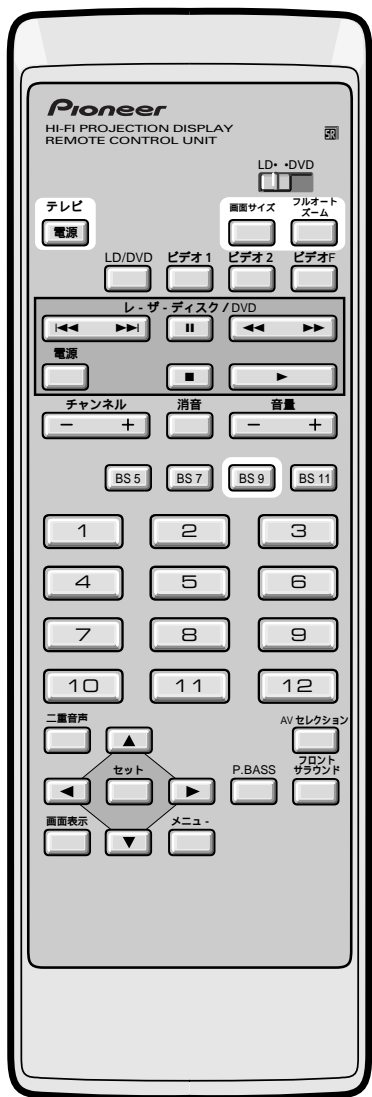
BS有料放送受信契約後、初めてBS放送を見るときはスクランブルの解除に10分から1時間ほどかかります。そのままお待ちください。

BS1、BS3、BS13、BS15を選ぶ場合は
チャンネル  (本体の ) で切り換えます。

BSチャンネルを設定し直すときは
37、42、43ページをご覧ください。

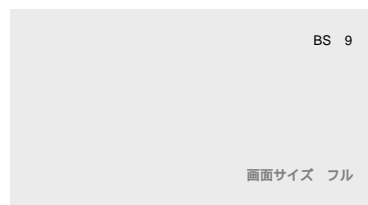
画面の色あわせをするときは
44～47ページをご覧ください。

ハイビジョン放送を見るには



1 「BS放送を見るには」(12、13ページ)の手順1、2の操作をする。

2 **BS 9**を押してハイビジョン放送を選ぶ。



本機の画面サイズとMUSE-NTSCコンバータの画面モードを組み合わせることにより、16:9画面で自然な画面を再現できます。画面の組み合わせによっては、映像が欠けたり、映像が縦長や横長にゆがむことがありますので、MUSE-NTSCコンバータ側：フル、テレビ側：フルで使用されることをおすすめします。

BSチューナー内蔵MUSE-NTSCコンバータを使うときは

1. 「ビデオ 2」を押す。
2. MUSE-NTSCコンバータ側でハイビジョン放送を選局する。
3. 画面サイズボタンで画面のサイズを切り換える。

- MUSE-NTSCコンバータに内蔵のBSチューナーを使うときは、「チャンネル設定」を「M-Nコンバータ」に設定しないでください。「M-Nコンバータ」に設定すると、「ビデオ 2入力」は映りません。

- 本機はハイビジョン放送と同じアスペクト比（画面の縦横比が16：9）なので、広がり感や迫力のあるハイビジョン放送を楽しめます（画質はNTSC方式と同等です）。

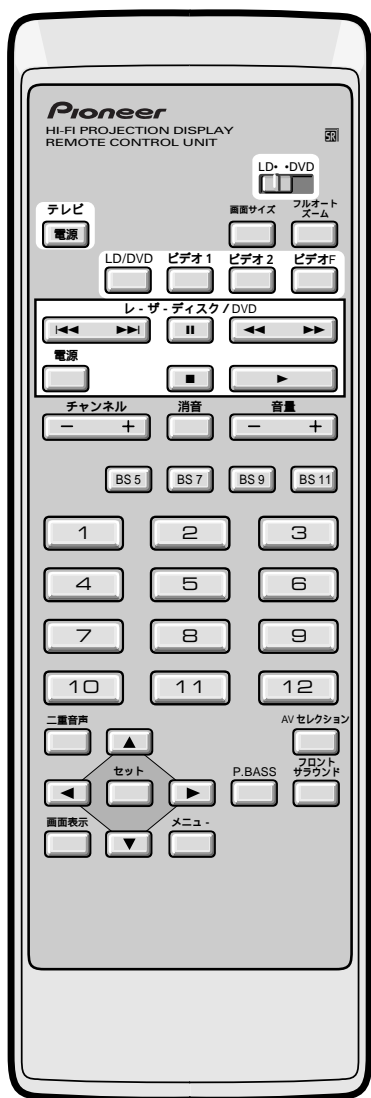
S1映像端子機能対応について

MUSE-NTSCコンバータのS1映像端子と、本機のS2映像端子を接続すると、フルモードの映像ソフトのときに自動的に画面サイズが「フル」になります。

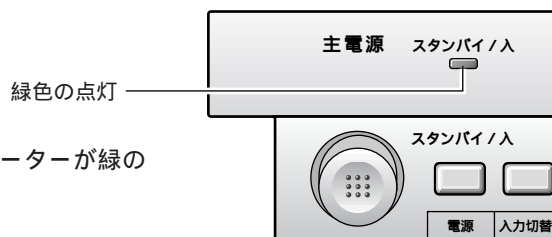
LD、DVD、ビデオを見るには

操作の前に、LD/DVDプレーヤーやビデオデッキを接続してください（48、49ページ）。

また、本体の主電源スイッチを押して、主電源を入れてください。



1 電源を押す。



スタンバイ/入インジケーターが緑の点灯にかかります。

2 再生したい機器を選ぶ。

例) LD/DVD: を押す。



3 LDまたはDVDプレーヤーを操作する。

パイオニア マークのついたLDプレーヤーやDVDプレーヤーの場合、本機のリモコンで操作ができます。

まず、切り換えスイッチを操作する機器に合わせてから、操作ボタンを押してください。



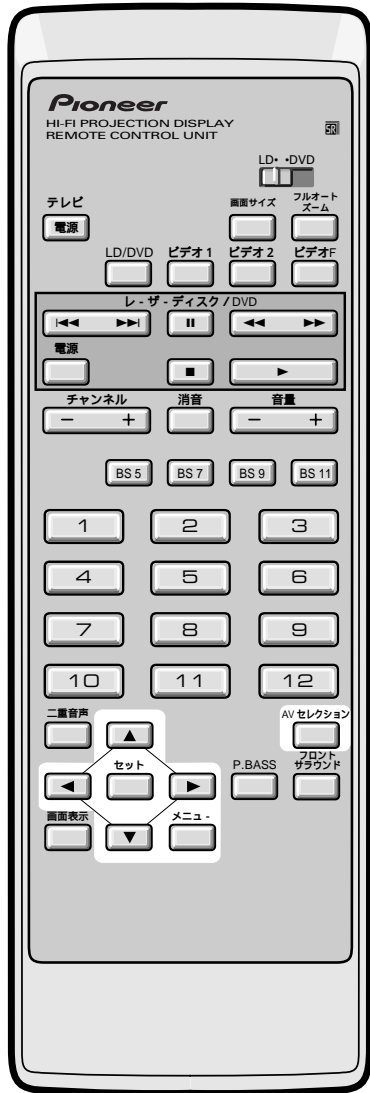
	LDプレーヤーの時	レ-ザ-ディスク/DVD
	電源	電源
	電源	電源
	電源	電源
	電源	電源
	電源	電源
	電源	電源
	電源	電源

* ご使用のLDプレーヤーの種類によっては、を押すと、ディスクテーブルが開閉するものもあります。

本機のリモコンでビデオデッキの操作はできません。ビデオデッキの操作は、ビデオデッキに付属のリモコンで行うか、ビデオデッキ本体で行なってください。

好みの画質に調整する

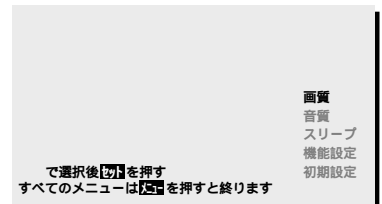
テレビ、レーザーディスク、ビデオなどを見ながら調整してください。



1 ^{AVセレクション} で調整したいAVセレクションを選ぶ。

2 ^{メニュー} を押す。

3 、 で **画質** を選び、^{セット} を押す。



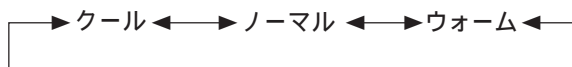
4 、 で調整する項目を選び、、 で調整する。













コントラスト： - 30から30まで
 明るさ： - 30から30まで
 色あい： - 30から30まで
 色の濃さ： - 30から30まで
 シャープネス： - 30から30まで

AVセレクションが「あそびdeゲーム」になっていると：
 コントラストは調整できません。


色温度は 、 で以下のように切り換えられます。



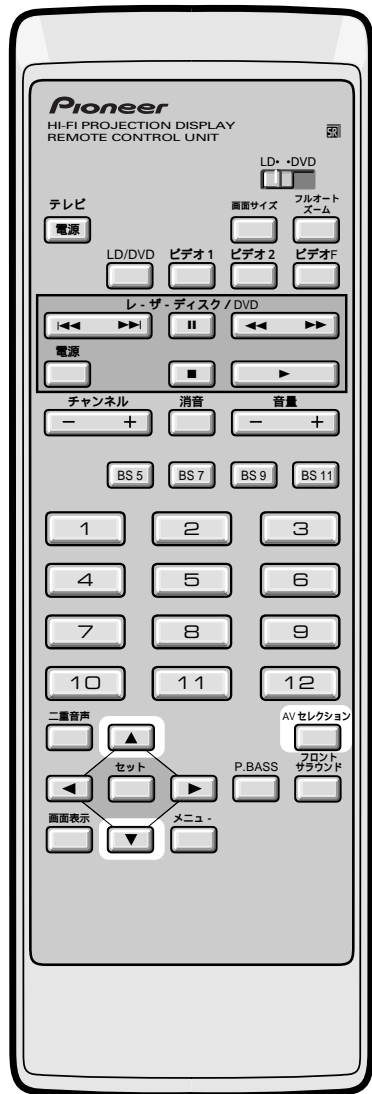
調整項目	調整のポイント	操 作
コントラスト	周囲の明るさにあわせて見やすくなるようにする	   弱くなる ← → 強くなる
明るさ	画面の暗い部分が見やすくなるようにする（夜の画面や黒い髪の毛など）	   暗くなる ← → 明るくなる
色あい	肌色がきれいに見えるように調整する	   赤っぽくなる ← → 緑っぽくなる
色の濃さ	好みの濃さにする（やや薄めに設定すると自然に見えます）	   薄くなる ← → 濃くなる
シャープネス	通常は0でご使用ください。柔らかい感じを出したいときは、数値が-になるように設定してください。	   柔らかくなる ← → くっきりする
色温度	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>クール</p> <p>心地良い色あいの画質が楽しめます</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ノーマル</p> <p>落ち着いた画質が楽しめます</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ウォーム</p> <p>暖かみのある色あいの画質が楽しめます</p> </div> </div>	

 を選ぶと

各項目の調整数値が点滅します。点滅中にセットボタンを押すと、現在選んでいるAVセレクションの画質は、コントラストからシャープネスは0、色温度はクールに戻ります。

5 調整が終わったら  を押してメニューを消す。

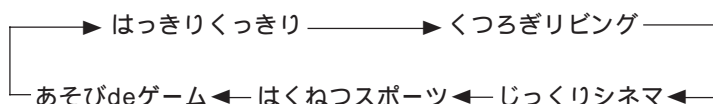
AVセレクションを使う



スポーツや映画、テレビゲームなどのいろいろな映像環境に応じた画質、音質を楽しめます。各入力切換（テレビ、LD/DVD、ビデオ 1、ビデオ 2、ビデオ F）ごとに、最後に選んだAVセレクションが記憶されます。

AVセレクション
 を押して切り換える。

AVセレクション
 を押すたびに、次のように切り換わります。



はっきりくっきり コントラスト感のある、メリハリのきいた映像になります。通常テレビをご覧になるときはこれを選んでください。

くつろぎリビング ゆったり楽しめるような、ソフトで見やすい映像になります。

じっくりシネマ コントラスト感を抑え、暗い映像を見やすくします。夜の背景など、暗い画面の多い映画などに効果的です。

はくねつスポーツ くっきりとした色鮮やかな映像と、広がりのある音で、スポーツ番組を臨場感と迫力にあふれたものにします。

あそびdeゲーム テレビゲーム、パソコンなどの映像の明るさを抑えて、目にやさしい映像にします。明るさを抑えることで本機の内部ブラウン管への焼き付けなどの悪影響を軽減させる働きにもなります。

- AVセレクションは 、 を使って、テレビの画面上で選ぶこともできます。

通常テレビをご覧になるときは、「はっきりくっきり」をお選びください。



AVセレクションが「あそびdeゲーム」になっていると

- コントラストは調整できません。
- 速度変調は選べません。速度変調がオンのときに、「あそびdeゲーム」を選ぶと、速度変調は強制的にオフになります。（20ページ）

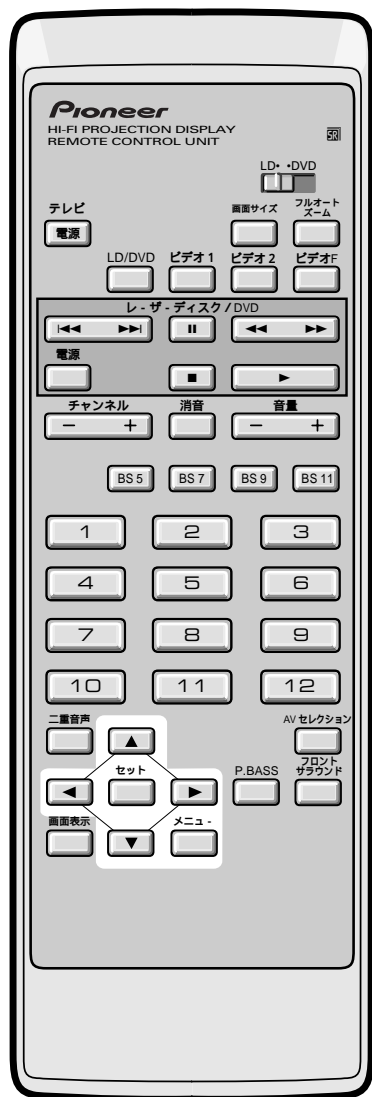
画像焼き付きのご注意

テレビゲームやパソコン、または静止画の再生などは、画像焼き付きなど悪影響を与えることがありますので、必ず「あそびdeゲーム」に設定し、2時間以内のご使用としてください。テレビゲームなどを使用後は、その時間の3倍以上、通常の放送などをご覧になるようにしてください。放送などの動画は画像焼き付きの発生を緩和する効果があり、内部ブラウン管への悪影響が軽減されます。

見やすい画質にする

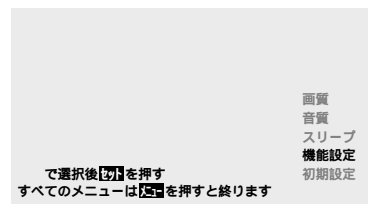
動きモードをオンにする

スポーツ番組など、動きの早い番組を見るときにオンにしておく、映像のぼけなどを軽減させることができ、よりクリアな映像が楽しめます。(S映像信号が入力されているときは、設定できません)



1 ^{メニュー} を押す。

2 [▲]、[▼] で **機能設定** を選び、^{セット} を押す。



3 [▲]、[▼] で **動きモード** を選び、[◀] で **オン** に設定する。

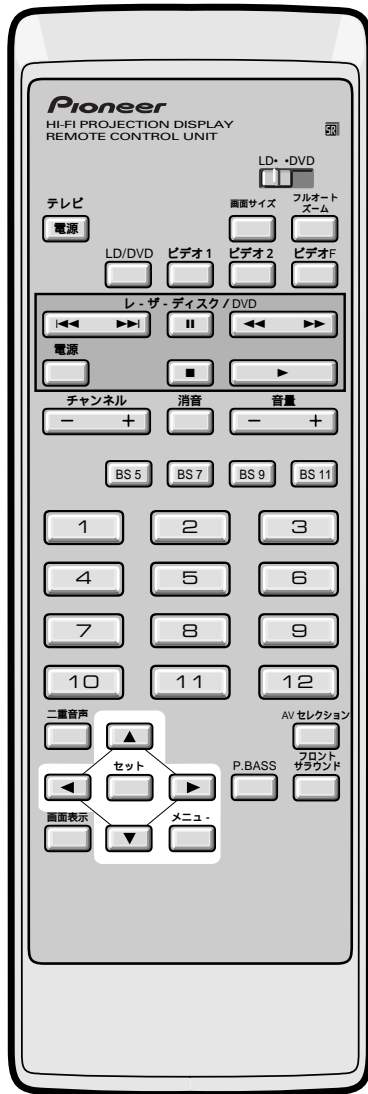


4 設定が終わったら ^{メニュー} を押してメニューを消す。

通常は、動きモードをオフにしてご使用ください。

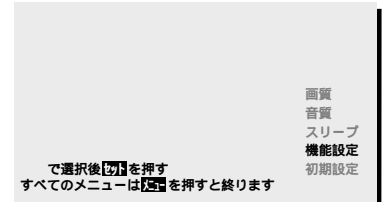
速度変調を切り換える

速度変調をオンにすると、はっきりくっきりとした画質になります。オフにすると、柔らかい印象のなめらかな画質になります。



1 **メニュー**を押す。

2 **▲**、**▼**で **機能設定** を選び、**セット**を押す。



3 **▲**、**▼**で **速度変調** を選び、**◀**で **オン** に設定する。



4 設定が終わったら **メニュー-**を押してメニューを消す。

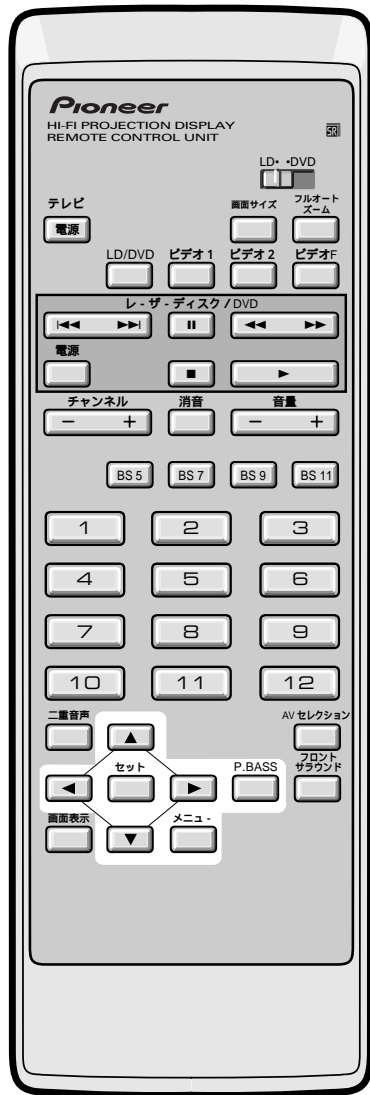
ご注意：


画面サイズが4：3ノーマルの場合もしくは、AVセレクションが「あそびdeゲーム」の場合、速度変調はオフになります。

通常は、速度変調をオンにしてご使用ください。

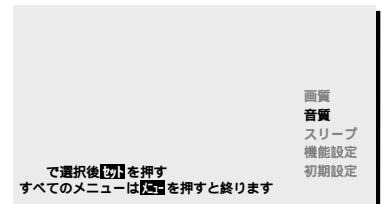
好みの音質に調整する

テレビ、レーザーディスク、ビデオなどを見ながら調整してください。



1  を押す。


2 、 で **音質** を選び、 を押す。



3 、 で調整する項目を選び、、 で調整する。

低音： - 30から30まで
 高音： - 30から30まで
 バランス： ... L（左）とR（右）の音
 量の割合を調整します。
 （L30からR30まで）



4 調整が終わったら  を押してメニューを消す。

- リモコンの  を押すとさらに低音が増強されます。

映画などで、迫力のある低音を楽しみたいときにおすすめします。

繰り返し押すと元に戻ります。

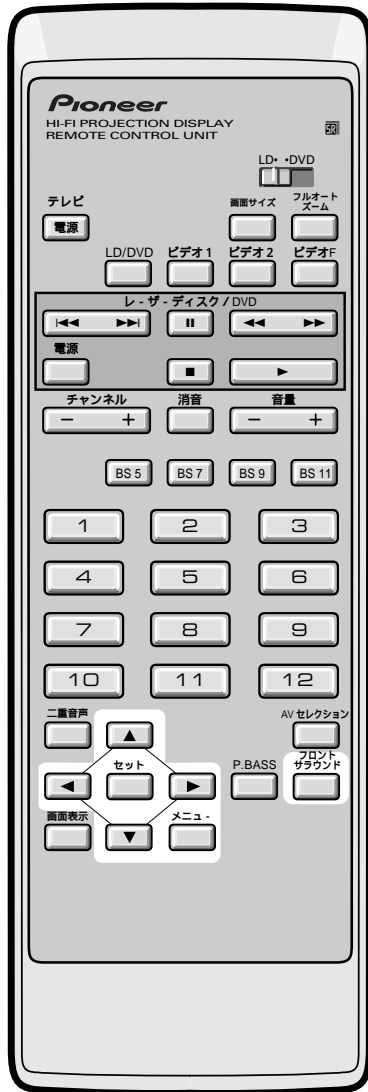
元に戻す を選ぶと

各項目の調整数値が点滅します。点滅中にセットボタンを押すと、現在選ばれているAVセレクションの音質の調整数値は0に戻ります。

ご注意：

P. BASSがオンのときに音量を上げると、音が歪む場合があります。その場合は、音量を下げてご使用ください。

サラウンドを楽しむ



臨場感のある音を楽しむ (フロントサラウンド)

本機に内蔵している左右のスピーカーで、迫力のあるサラウンド効果を楽しめます。

フロントサラウンド
を押して選ぶ。

- ▶ サラウンド 1 音楽番組などで、手軽にサラウンドが楽しめます。
- ↓
- サラウンド 2 映画番組などで、迫力のあるサラウンドが楽しめます。
- ↓
- シミュレーテッド ... ニュース番組など、モノラル音声に広がり感を持たせます。
- ↓
- ステレオ
- ↓
- オフ

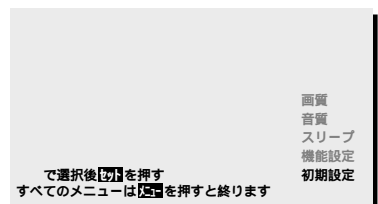
3-1方式サラウンドを楽しむ

MUSE-NTSCコンバータなど、4CH入力信号に使用します。
MUSE 3-1ミックスをオンにすると、本機内蔵スピーカー、左(L)と右(R)から、サラウンドとセンターの音声混成されて出力されます。この機能をオンにしておくと、ハイビジョン放送の4chステレオ(3-1方式)を手軽に楽しむことができます。

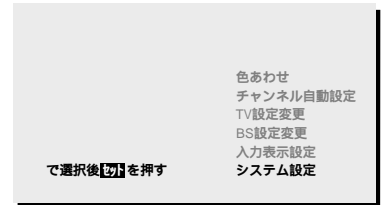
1 を押す。

2 、で **初期設定** を選び、を押す。

ご注意：
フロントサラウンドのどれかが選ばれているときに音量をあげると、音が歪む場合があります。その場合は、音量を下げてご使用ください。



3 ▲、▼で **システム設定** を選び、^{セット} を押す。



4 ▲、▼で **MUSE 3-1ミックス** を選び、◀で **オン** に設定する。



- オン 4chステレオ(3-1ミックス)のとき、センター、サラウンド音声
をフロント(左右)音声に混成します。
- オフ 4chステレオ(3-1ミックス)のとき、テレビのスピーカーからは
フロント左右の音声しか出ません。外部のステレオシステムを使用
してサラウンドを楽しむ場合にご使用ください。

5 設定が終わったら、^{メニュー} を押してメニューを消す。

4chステレオ(3-1方式)について
ハイビジョン放送(ミューズ方式)の音声は、
4chステレオ(3-1方式)です。4chステレオ(3-
1方式)は、フロント(LR)の音声と、立体感を出
すためのサラウンド音声(S)、音声を定位させる
ためのセンター音声(C)で構成されているので、
臨場感のある音響効果が得られます。

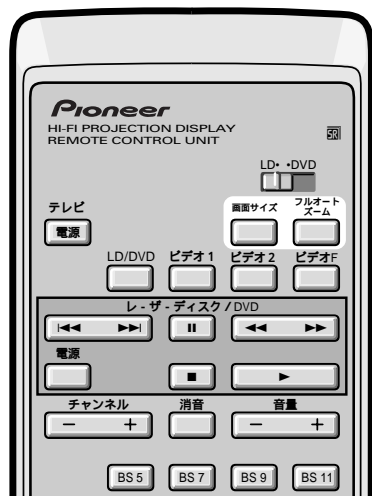
- ハイビジョン音声モードについての詳しい説
明は、MUSE-NTSCコンバータに付属の取扱
説明書をご覧ください。
- ハイビジョン放送をお手持ちのビデオで録画
する場合、音声はフロント(左右)のみ録音
されます。

画面サイズを切り換える

このテレビには、いろいろな縦横比の画面に対応するモードがあります。受信番組や使用するソフトに合った正しいモードでご覧になることをお勧めします。

ワイド画像でない4:3の映像をナチュラルワイドやシネマワイド、ズーム、フルを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、画像が一部欠落したり、変形して見えます。

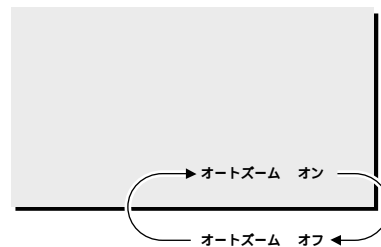
これらの機能は、映像をワイドな画面いっぱいに映すものですが、ご使用に当たっては、制作者の意図を十分に尊重して、お楽しみいただくことをお勧めいたします。



自動で切り換える(フルオートズーム)

フルオートズーム機能は、見ている映像に適した画面サイズに、自動的に切り換えます。スポーツ番組や映画を見るときには、広がり感のある迫力の映像が楽しめます。

フルオートズーム
を押し。



オン：フルオートズーム機能が働きます。
オフ：フルオートズーム機能は働きません。

4:3テレビの画面状態	フルオートズームがオンのときの画面状態	
<p>ノーマル</p>	<p>ナチュラルワイド</p>	<p>4:3映像は、ナチュラルワイドに切り換えます。</p> <p>ご注意： 夜の背景など暗い場面の場合、シネマワイド、ズームに切り換わる場合があります。このようなときは、フルオートズーム機能をオフにしてください。</p>
<p>ピスタサイズ</p>	<p>シネマワイド</p>	<p>黒帯のある横長のワイド映像ソフト（ピスタサイズ、シネスコサイズなど）は、上下の黒帯をカットして、見やすい画面サイズに切り換えます。</p>
<p>シネスコサイズ または 16:9サイズ</p>	<p>ズーム</p>	<p>ご注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● レーザーディスクやビデオのソフトによっては、画面上下の一部が欠けたり、黒帯が見えることがあります。 ● ワイドクリアビジョン放送受信時は、フルオートズームのオン/オフに関わりなく、画面サイズは自動で切り換わります。

手動で切り換える

画面に映る映像の大きさや、映し出す映像の範囲を5種類の画面サイズに切り換えることができます。

画面サイズ

を押して切り換える。

フルオートズームはオフになります。



画面サイズ

を押すたびに、次のように切り換わります。



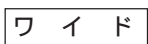
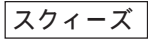

		普通のテレビ番組のときの見え方	
画面サイズ切り換え	従来のテレビ		
	ナチュラルワイド		ニュースやスポーツ番組などを見るときなどに適しています。映画やスポーツ番組などでは、広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
	4対3ノーマル		ニュースやドラマ番組などを見るときなどに適しています。映像ソフト本来の画面枠の形で見るすることができます。
	フル		MUSE-NTSCコンバータを通してハイビジョン放送を見るときに適しています。MUSE-NTSCコンバータ側の画面モードは「フル」にしてください。
	ズーム		劇場サイズの映像のうち、主に「シネスコ（シネマスコープ）サイズ」の映像を見るときなどに適しています。より広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
	シネマワイド		劇場サイズの映像のうち、主に「ピスタサイズ」の映像を見るときなどに適しています。より広がり感のある迫力の映像が楽しめます。字幕スーパー付きのシネスコサイズの映像を見るときにはこの画面サイズが便利です。


画面の位置を上下に動かす



画面サイズがシネマワイドまたはズームのとき、、で画面の位置を調整できます。

映像信号によって画面サイズが切り換わる

S1、S2映像信号またはワイドクリアビジョン放送を識別すると、自動的に画像サイズが切り換わります。

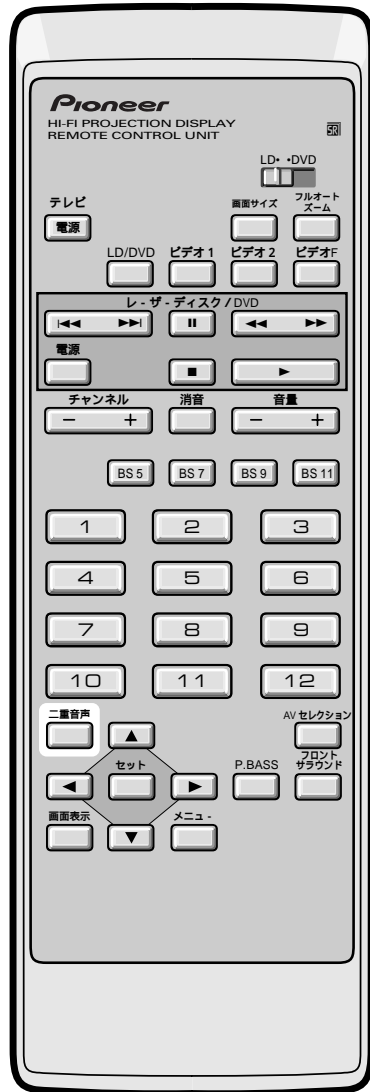
画面表示	動作内容
	ワイドクリアビジョン放送を受信すると、識別制御信号を識別して自動的に画面サイズが「ズーム」になります。
	S1映像信号を受信すると、識別制御信号を識別して自動的に画面サイズが「フル」になります。
	S2映像信号を受信すると、識別制御信号を識別して自動的に画面サイズが「ズーム」になります。

フルオートズームがオンのときは、と表示します。

ピスタサイズの映画などを、シネマワイドまたはズームで見ると、映像が画面の中央からはずれたり、はみ出す場合があります。このようなときは、、で画面の位置をお好みで調整できます。



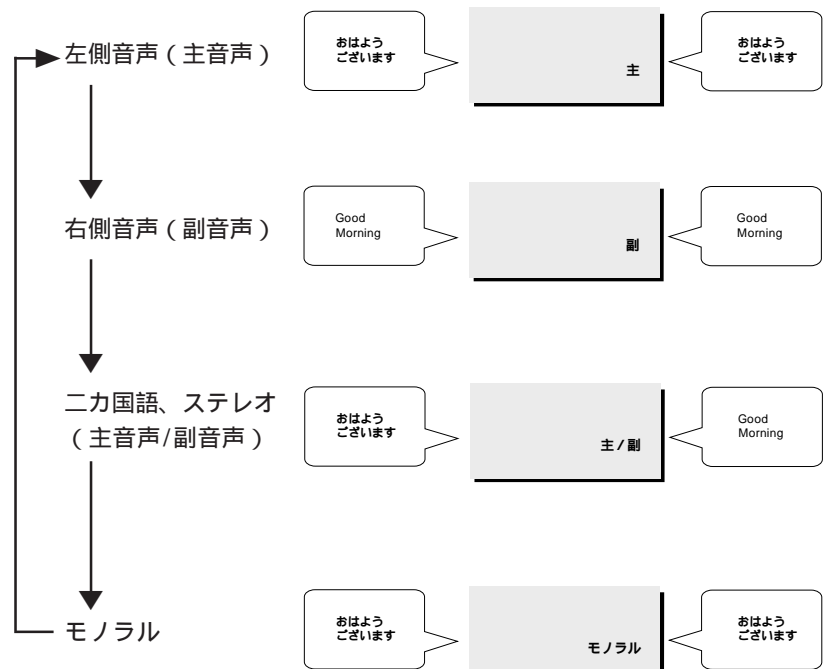
二カ国語、ステレオ放送を聞くには



主音声と副音声を切り換える

二カ国語（二重音声）またはステレオ放送のとき、左側の出力音声（主音声）と右側の出力音声（副音声）を切り換えることができます。

二重音声  を押して切り換える。



ステレオ放送で雑音が多いとき

ステレオ放送で雑音が多いとき、二重音声ボタンでモノラルを選ぶと、モノラル音声になり聞きやすくなります。

ステレオ放送のときにモノラル以外の音声モードを選ぶと、自動的に音声ステレオに切り換わります。

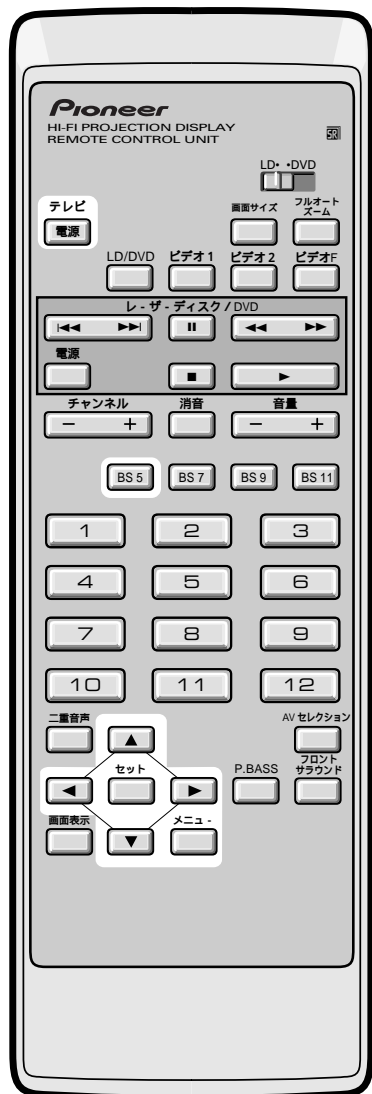
二重音声ボタンでモノラル以外を選び、画面表示ボタンを押したときに「主」、「副」あるいは「主/副」と表示されたら2ヶ国語放送を、「ステレオ」と表示されたらステレオ放送を受信しています。

衛星放送を見ているときは、モノラルを選ばません。

便利な機能

独立音声放送(セント・ギガ)を聞く

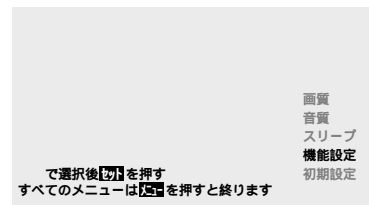
- 1999年4月現在、独立音声放送(セント・ギガ)はBS5チャンネルのみで行われています。
セント・ギガを受信すると、表示部に「独立」という表示が出ますがTVに切り換えると、WOWOWの音声になります。
なお、セント・ギガは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。
- TV音声と独立音声の切り換え操作は、BS放送受信時のみできます。



1 **電源** を押し、**BS5** を押して放送を受信する。

2 **メニュー** を押す。

3 **▲**、**▼** で **機能設定** を選び、**セット** を押す。



4 **▲**、**▼** で **音声選択** を選び、**▶** で **独立** に設定する。

BSデコーダ側で選ぶ音声と、テレビ側で選ぶ音声が同じになるようにしてください。



5 **▲**、**▼** で **映像ミュート** を選び、**◀** で **オン** に設定する。



6 設定が終わったら、**メニュー** を押してメニューを消す。

BS放送を録画する

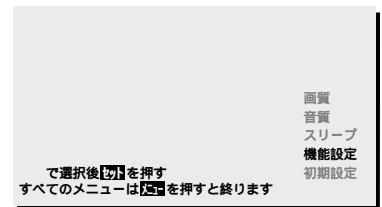


- 本機は、BSチューナーを内蔵していますので、BSチューナーを内蔵していないビデオデッキをビデオ 1出力端子に接続すると、BS放送を録画することができます。(48ページ)
- 録画中は、VHF/UHF放送は見ることはできますが、録画している番組とは別のBS放送を見ることはできません。

1 **電源** を押し、**BS 5** **BS 7** **BS 9** **BS 11**、**チャンネル** **-** **+** で録画したいBS放送を受信する。

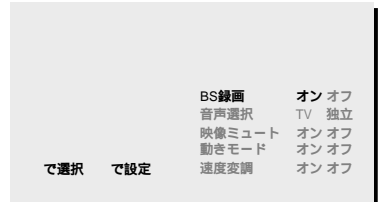
2 **メニュー** を押し、

3 **▲**、**▼** で **機能設定** を選び、**セット** を押し。



4 **▲**、**▼** で **BS録画** を選び、**▶** で **オン** に設定する。

BS録画インジケータが点灯します。



5 設定が終わったら、**メニュー** を押し、**メニュー** を消す。

6 **ビデオデッキ** で録画操作をする。

1. ビデオデッキの入力を「外部入力」にする。
2. 録画用ビデオカセットを入れ、録画を始める。ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

7 **電源** を押し、**電源** を切っておくことができる。

電源を切ったときに、BS録画インジケータが点灯しているのを必ずご確認ください。

主電源は絶対に切らないでください。

BS録画インジケータ点灯中はBSチャンネルの切り換えはできません。

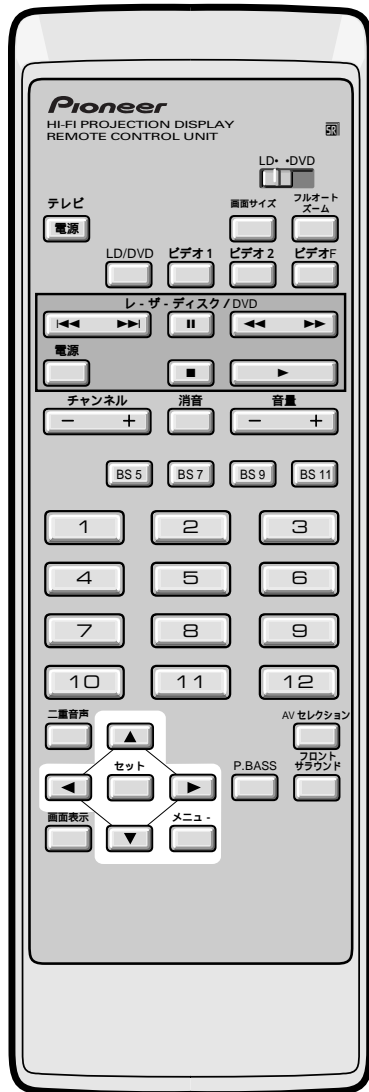
録画が終わったらメニューに戻って、BS録画をオフにしてください。


画質や音質を調整した場合は本機で画質や音質を調整しても、録画される映像や音声には効果はありません。

便利な機能

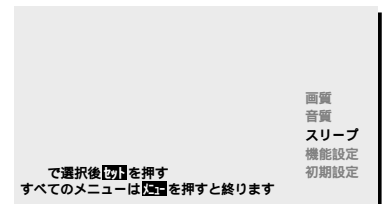
テレビの電源を自動で切る

スリープタイマーを設定しておく、設定した時間がきたら、自動で電源が切れます。



1  を押す。


2 ,  で **スリープ** を選び、 を押す。



3 電源の切れる時間を ,  で設定する。

30 30分、60 60分、90 90分、120 120分後に自動で電源が切れます。



4 設定が終わったら、 を押してメニューを消す。

- スリープタイマーは、メニューを消した時点から動作します。
- 画面表示、チャンネルの選択等を行うと画面右上に「残り時間」を表示します。
- 電源が切れる前にパワーオフの文字が点滅します。

準備・接続

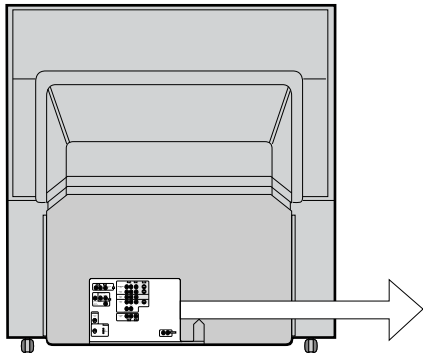
VHF/UHFアンテナをつなぐ	32	他の機器との接続	48
BSアンテナをつなぐ	34	ビデオデッキをつなぐ	48
BSデコーダをつなぐ	35	2台目のビデオデッキをつなぐ	48
ハイビジョン放送用 コンバータをつなぐ	36	LDプレーヤー、またはDVDプレーヤーをつなぐ	49
チャンネル自動設定をする	37	ビデオカメラなどをつなぐ	49
テレビ(VHF/UHF)の 設定変更をする	38	入力表示を書き換える	50
BSの設定変更をする	40	BS内蔵ビデオデッキをつなぐ	52
WOWOW、ハイビジョン放送の 設定変更をする	42	コントロールコードをつなぐ	53
画面の色あわせをする	44	モニターテレビとして使う(AVアンプをつなぐ)	53
		AVアンプをつないでモニターテレビとして使う設定をする	54

本機で各放送を見るために用意する機器

放送	用意する機器
VHF/UHF放送	VHF/UHFアンテナ
BS放送	BSアンテナ
BS有料放送 (WOWOWなど)	BSアンテナ + WOWOWデコーダ
BSハイビジョン放送	BSアンテナ + MUSE-NTSCコンバータ
CATV有料放送	CATV放送会社の設置工事 + アダプター

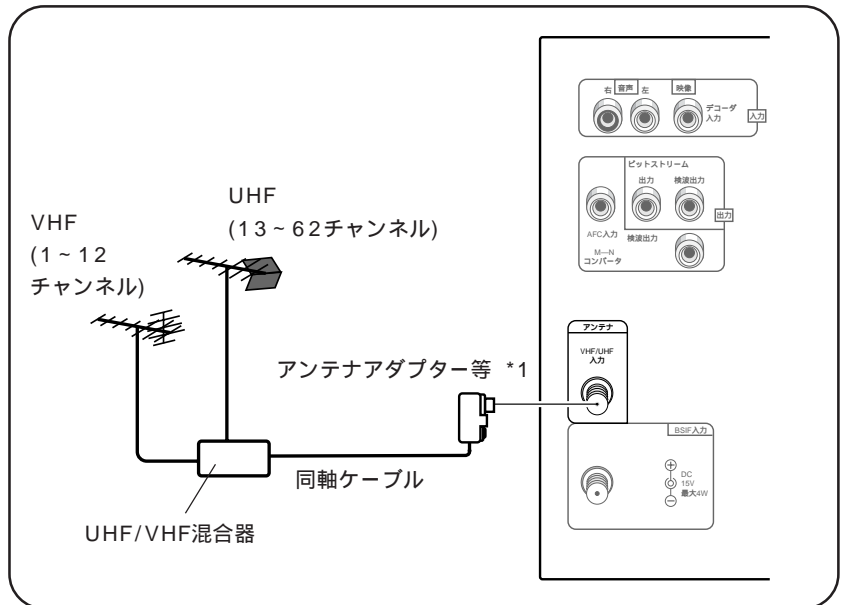
アンテナまたはCATVはマンションなどの共同設備を利用できる場合があります。
CATVの受信はサービスの行われている地域のみ可能です。

VHF/UHFアンテナをつなぐ

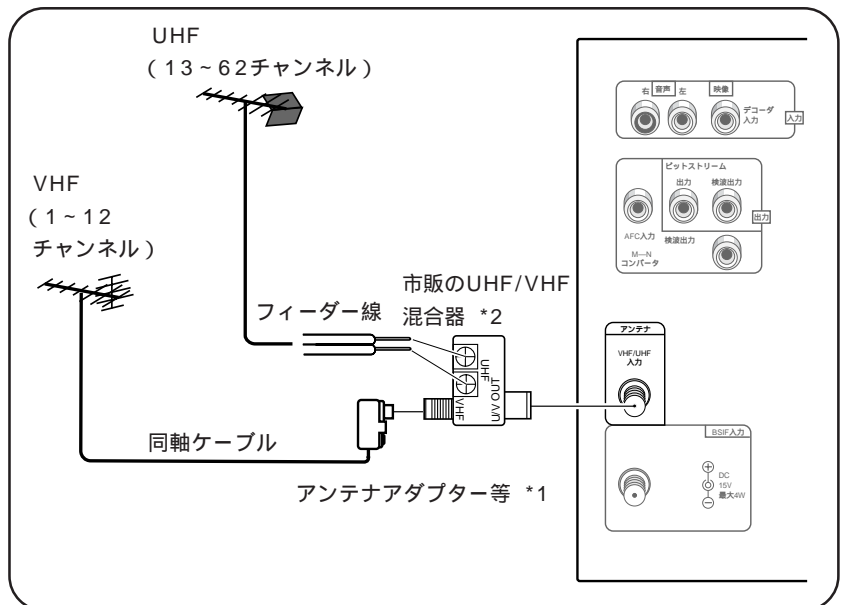


アンテナの接続は、ご家庭のアンテナ線の種類によって異なります。以下の2つが代表的な例ですが、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

アンテナ線がVHF/UHF混合の場合



アンテナ線がVHFとUHFで分かれている場合



*1 アンテナアダプターやF型プラグがついていない場合は、アンテナアダプターを取付けます。(33ページ)

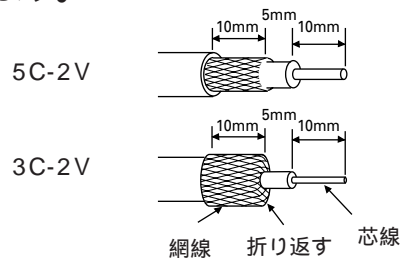
*2 UHF/VHF混合器を使用される場合に、電波の受信状態が悪くなり、画面に縞もようがでることがあります。この場合はケーブルなどを使用して、混合器をできるだけ本機から離して接続してください。

アンテナアダプターなどの取り付けかた

アンテナ線（同軸ケーブル）にF型プラグなどがない場合は、市販のアンテナアダプターを取り付けます。

同軸ケーブルの太さ（3C-2V、5C-2Vなど）に合わせて下記のように取り付けてください。

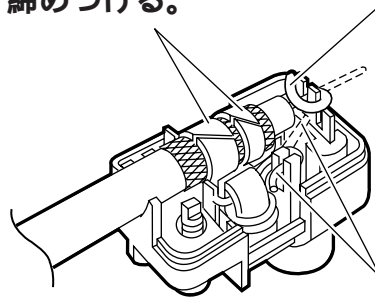
1 カッターやニッパーなどを使用して、同軸ケーブルを加工します。



3 ペンチなどで締めつける。

4 芯線を端子に巻付け、深く押し込みます。

（注）他の金属部分に接触しないように



アンテナアダプターの
カバーを外した図

2 点線部分のリード線をはずしプラスチック柱にはさみ込みます。



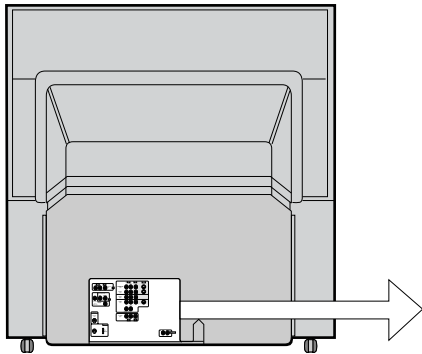
注意

アンテナを建てる時は専門の業者へアンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください。

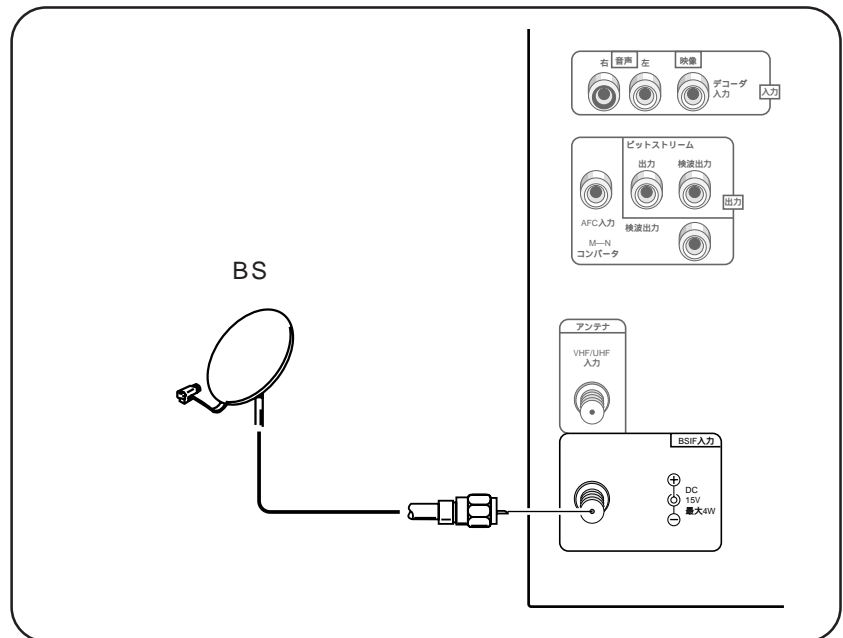
- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

（注）アンテナアダプターの構造は、種類によって多少異なります。

BSアンテナをつなぐ



個人で受信する場合



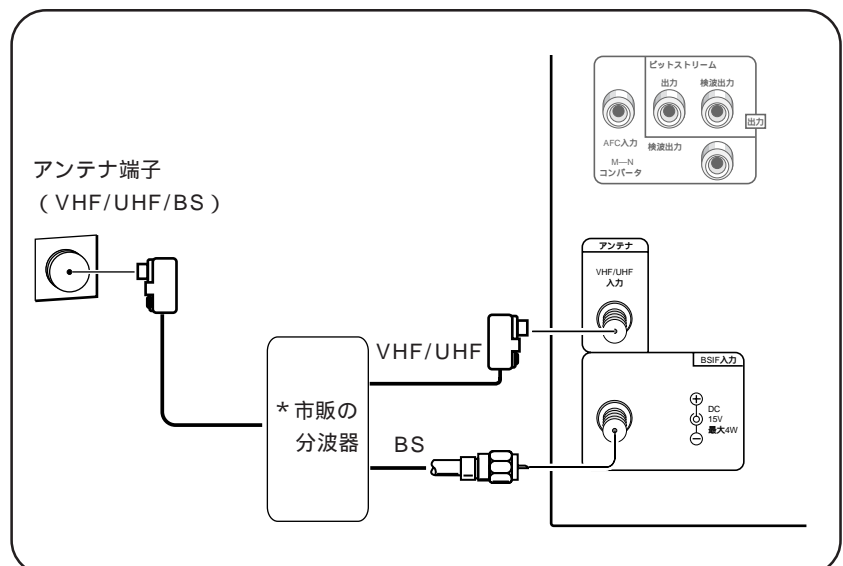
BSアンテナを設置するときは

- アンテナの向きを正確に合わせる必要がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ご自分で設置される場合は「BSの設定変更をする」(40ページ)をご覧ください。
- BS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付け・設置してください。

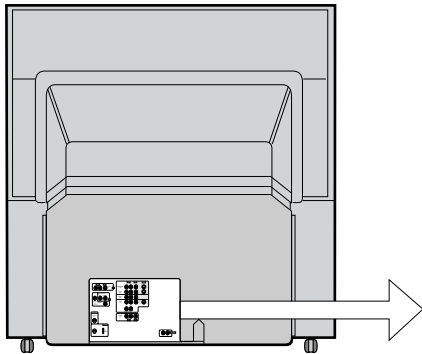
共同受信設備を利用して受信する場合(マンションなど)

マンションの設備、器材によって、アンテナの設定が異なる場合があります。詳しい内容は、アンテナ工事の業者にご確認ください。

- * 分波器を使用されると、電波の受信状態が悪くなり、画面に縞もようがでることがあります。この場合は、ケーブルなどを使用して、分波器をできるだけ本機から離して接続してください。



BSデコーダをつなぐ



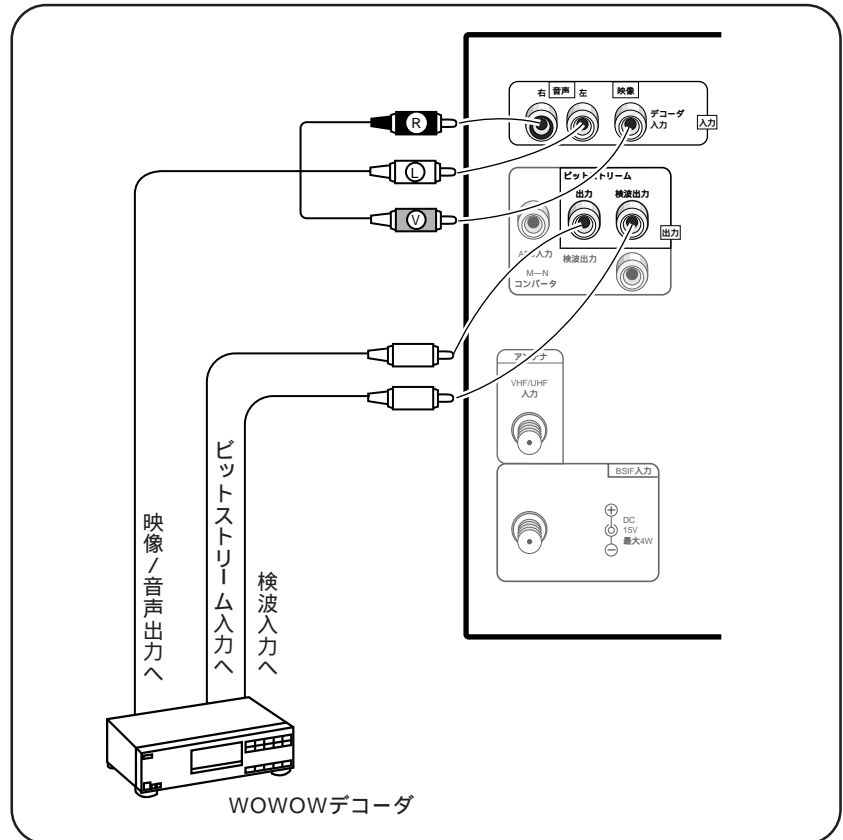
BSの有料放送（WOWOW/St.GIGAなど）を見る場合は、スクランブルを解除するために、デコーダの接続と、放送会社との受信契約が必要です。

WOWOW/St.GIGAの場合

- ① 放送会社と受信契約をして、WOWOWデコーダを受け取る。（St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。）
- ② WOWOWデコーダを本機に接続する。

詳しい内容はWOWOWデコーダの取扱説明書をご覧ください。

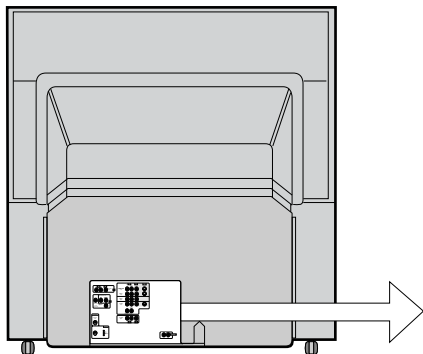
WOWOWデコーダの映像 / 音声出力端子は、必ずデコーダ入力端子に接続してください。



WOWOW放送は、有料放送として放送内容をスクランブル（放送内容をかきみだして、そのままでは見られない状態）処理されています。放送を見るにはJSB放送会社との受信契約を行ってください。また、スクランブルを正常な状態に戻すWOWOWデコーダ（解読器）も合わせてご使用ください。セント・ギガはBS5チャンネルの音声のみ独立した放送です。ご契約されていない場合、音声は無音となる場合がありますが、故障ではありません。JSB放送会社とは別に受信契約を行ってください。

WOWOW、セント・ギガは、BS5チャンネルで放送されています（1999年4月現在）

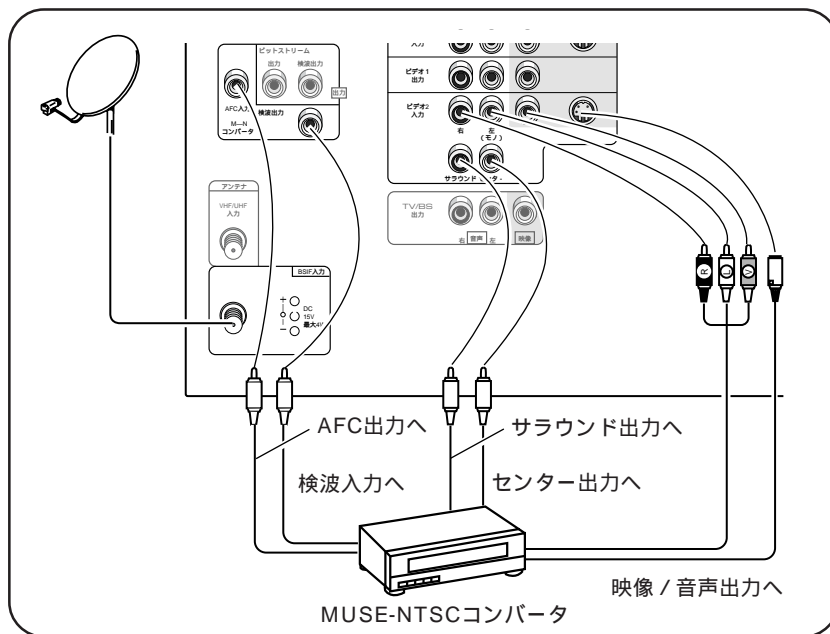
ハイビジョン放送用コンバータをつなぐ



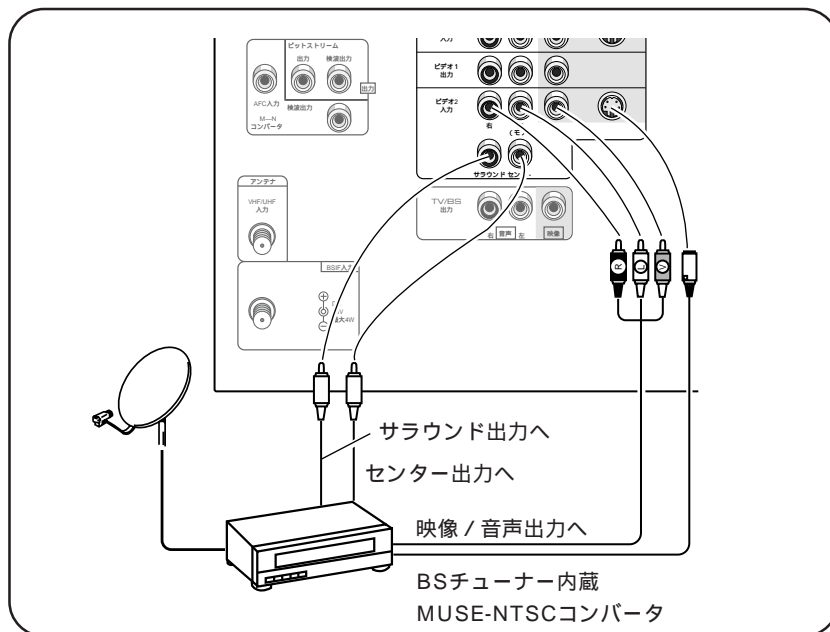
ハイビジョン放送を本機のようなNTSC方式のテレビで見るためには、MUSE-NTSCコンバータ(M-Nコンバータ)の接続が必要です。M-Nコンバータはビデオ2入力端子に接続してください。詳しくは、M-Nコンバータの取扱説明書をご覧ください。

ハイビジョン放送を見るための設定
 ハイビジョン放送は、BS9チャンネルでのみ行われています。(1999年4月現在)
 BS9チャンネルの放送を見るためには、「WOWOW、ハイビジョン放送の設定変更をする(42、43ページ)」の手順4で、デコーダの設定を「M-Nコンバータ」にしてください。

MUSE-NTSCコンバータをつなぐ



BSチューナー内蔵MUSE-NTSCコンバータをつなぐ



VHF/UHF/CATV/BS

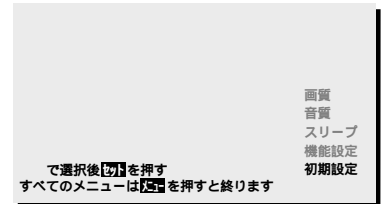
チャンネル自動設定をする



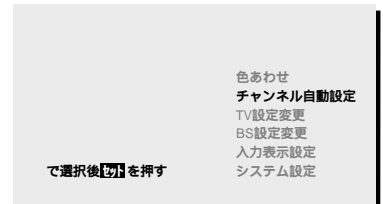
自動設定を行うと、本機をご使用の地域にあったチャンネルを自動で設定できます。自動設定時に、BSアンテナ、BSデコーダを接続しておく、BSアンテナの電源の設定や、デコーダの動作設定なども自動で設定されます。

1 **メニュー**を押す。

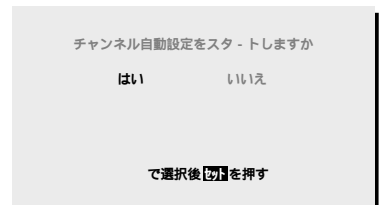
2 **初期設定**を選び、**セット**を押す。



3 **チャンネル自動設定**を選び、**セット**を押す。



4 **はい**を選び、**セット**を押す。



受信できるチャンネルを VHF → UHF → CATV → BSの順に自動的に設定します。自動設定は、1～12チャンネルを設定してから、13チャンネル以上に移ります。好きなチャンネルを設定したいときは、次ページの操作を行ってください。

VHF放送、UHF放送、CATV放送のどれも受信できない場合、チャンネルの自動設定はそこで終了します。

5 設定が終わったら、**メニュー**を押してメニューを消す。

自動設定を途中でやめたいときは

メニューボタンを押します。メニューボタンを押したところまでの内容は設定されています。

BS録画がオンのときは自動設定は行えません。

残量表示について

自動設定を行なっている間、画面下部に

残量 |||||----- と表示されます。

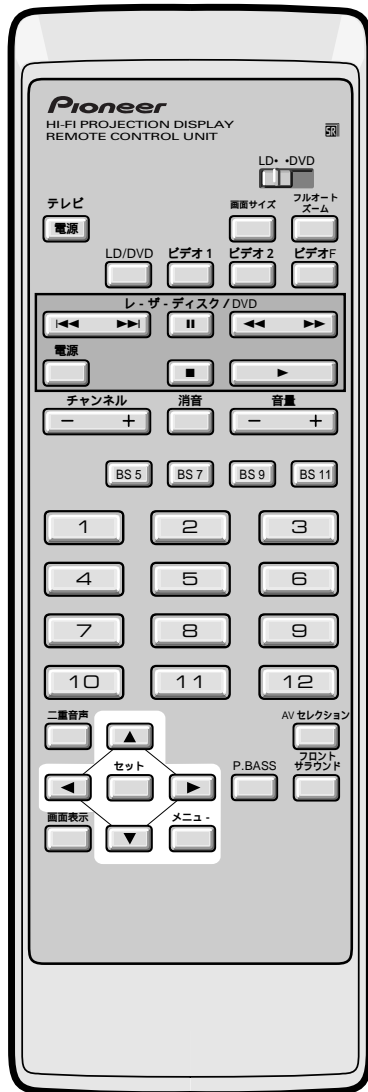
これは、自動設定が終了するまでにかかる時間を表示しています。

CATVの受信について

CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。

準備・接続

テレビ(VHF/UHF)の設定変更をする



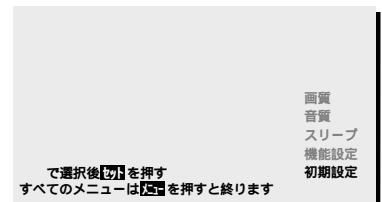
チャンネルの設定/チャンネル表示の書き換え

- UHF放送を見るときは、チャンネル番号1～24のうちの空いているチャンネルに、見たい放送局を設定します。(CATVを受信する場合も、同じように放送局を設定します。)
- VHFチャンネルはお買い上げ時にすでに設定されていますが、放送のないチャンネルをとばすために、設定し直すことができます。
- チャンネル表示は、通常“1”のように数字で表示されますが、好みに応じて“NHK”というように表示内容を書き換えることができます。(最大4文字)

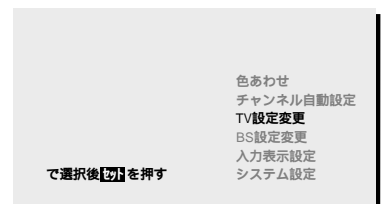
例：チャンネル5ボタンに、UHF42チャンネルを設定し、“TVK”という表示に変更する場合

1 を押す。

2 、 で **初期設定** を選び、 を押す。



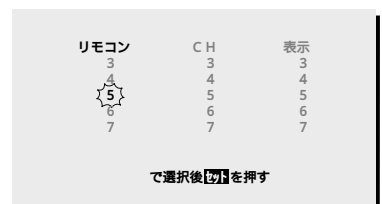
3 、 で **TV設定変更** を選び、 を押す。



4 **リモコン** の列で、**空きチャンネルを選ぶ。**
(例：5チャンネル)

、 で選択後 を

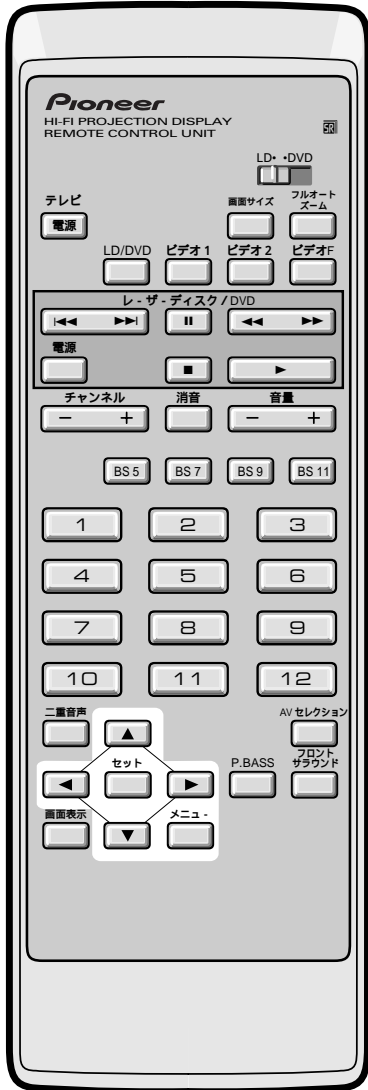
押す。



お買い上げ時のチャンネル設定について
チャンネル番号1～12には、VHF放送の1～12チャンネルが設定されています。

13～24に設定したチャンネルを見るときは
リモコンのチャンネル番号を2回押します。

例：13チャンネルを選ぶ
 を続けて2回押す。



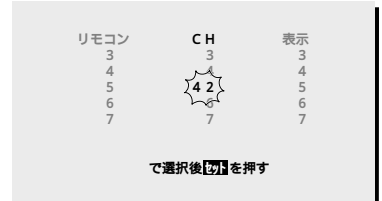
放送のないチャンネルをとばすときはチャンネル+、- ボタンで選局時に、放送のないチャンネルをとばすことができます。手順4でとばしたいチャンネルを選び、手順5で“- -”を選んでください。

入力を間違えたときは

1. 次のチャンネルに点滅が移動するまで、セットボタンを数回押します。
2. を押して修正するチャンネルを点滅させます。
3. を押して、修正したい箇所を点滅させ、もう一度入力し直します。

5 CH の列で、放送局を選ぶ。 (例：42チャンネル)

、 で選択後
 を押す。



6 表示 の列で、好みの表示内容を 、 で入力する。(例：TVK)

- 4文字まで入力できます。(例の“TVK”のように3文字の場合は、最初に1文字分スペースを入力しておきます。)
- 入力に使用できる文字は次の40文字です。

「0~9、A~Z、>、<、_ (スペース)」

、 でスペース()を選び、 を押す。

、 で“T”を選び、 を押す。

、 で“V”を選び、 を押す。

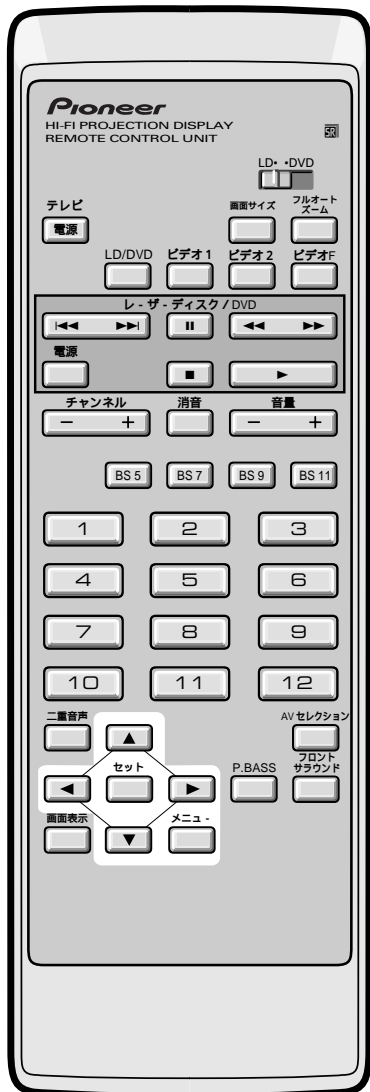
、 で“K”を選ぶ。

入力が終わったら、 を押して、次の数字を点滅させます。(これで入力が確定されます。)



7 設定が終わったら、 を押してメニューを消す。

BSの設定変更をする




BS放送を見るために、必要に応じて次のような設定変更を行なってください。

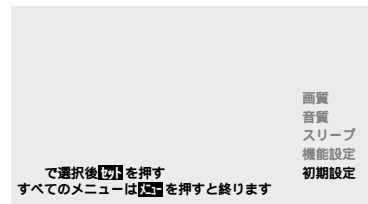
- BSアンテナ電源の設定
- WOWOWデコーダ、M-Nコンバータの動作設定/チャンネル表示の書き換え(42ページ)

BSアンテナ電源の設定

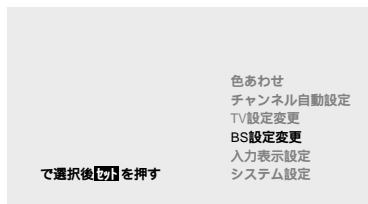
- BSアンテナは、電源を供給しないと、使用できません。この設定でアンテナ電源をオンにしてください。
- 共同受信設備(マンションなど)の場合はアンテナ電源の設定は「オフ」にしてください。(お買い上げ時は「オフ」に設定されています。)

1  を押す。

2 、 で **初期設定** を選び、 を押す。

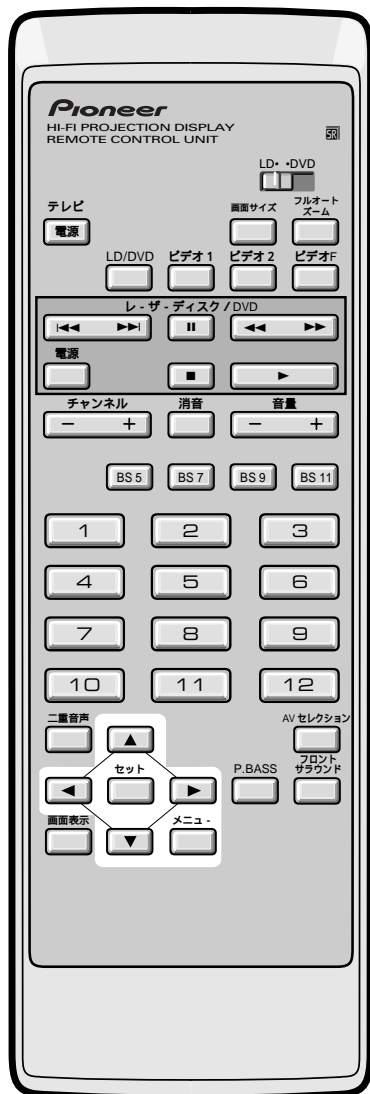


3 、 で **BS設定変更** を選び、 を押す。

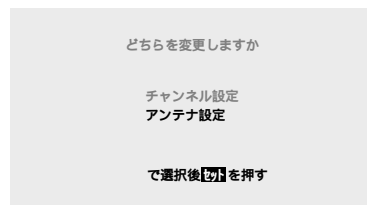


BS録画がオンになっている場合は操作できません。

BS録画をオフにしてください。(29ページ)



4 ▲、▼で **アンテナ設定** を選び、^{セット} を押す。



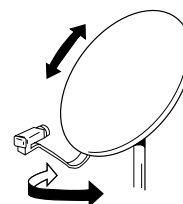
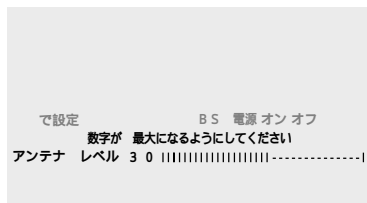
5 ◀、▶でBS電源を **オン** に設定する。



6 BSアンテナの向きを調整する。

BS放送をよりよく受信するために、アンテナの向きを調整してください。

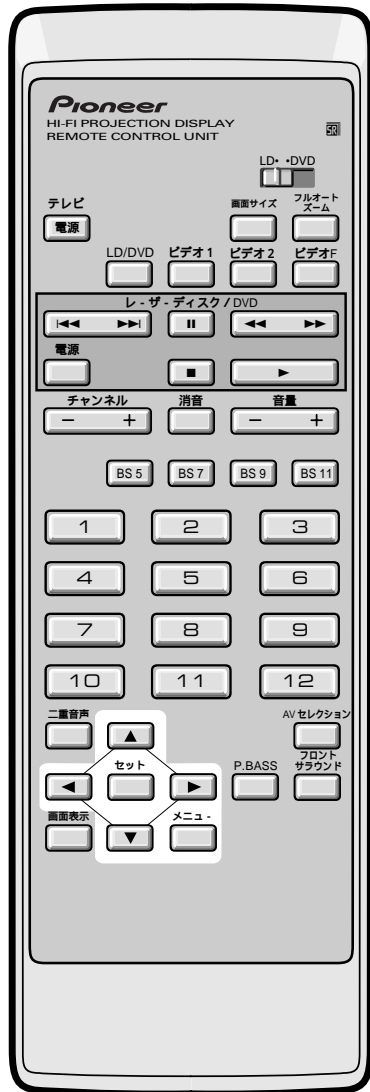
アンテナレベル表示を見ながらBSアンテナの向きを上下、左右に調整する。



レベルが最大になるところで、BSアンテナをしっかりと固定します。

7 調整が終わったら、^{メニュー} を押してメニューを消す。

WOWOW、ハイビジョン放送の設定変更をする



WOWOWデコーダ、M-Nコンバータ (ハイビジョン)の動作設定/チャンネル表示の書き換え

- BS有料放送のチャンネルで、スクランブル解除のためにデコーダを経由するかどうかの動作状態を設定できます。
- チャンネルを選んだときに画面に表示される文字を、書き換えることができます。
- MUSE-NTSCコンバータ接続時の動作設定も、以下の操作で行なってください。

例：BS7チャンネルのデコーダ設定を“デコーダ1自動”にして、チャンネル表示を“NHK”と書き換える。

1 40ページの手順1～3でBS設定変更画面にする。

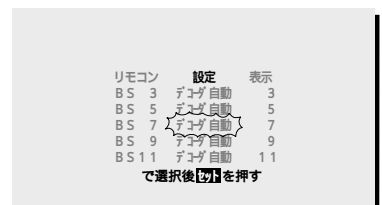
2 、で **チャンネル設定** を選び、を押す。



3 **リモコン** の列で、BSチャンネルを 、 で選び、を押す。
(例:BS7チャンネル)



4 **設定** の列で、デコーダの設定を 、 で選び、を押す。
(例：デコーダ自動)



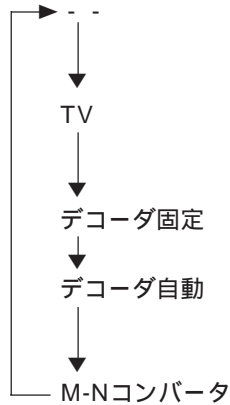
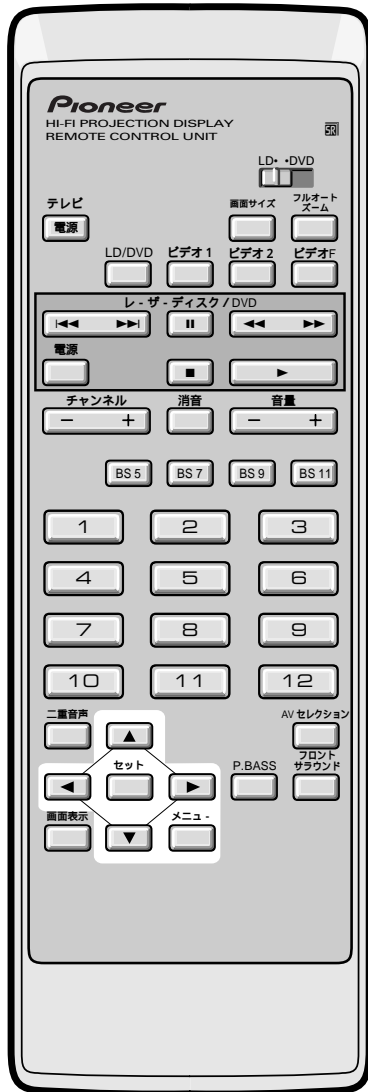
、を押すたびに次ページのように切り換わります。

BS録画がオンになっている場合は、操作できません。

BS録画をオフにしてください。(29ページ)

M-Nコンバータについて

M-Nコンバータ に設定すると、ビデオ2入力端子に接続したMUSE-NTSCコンバータからの映像信号が、設定されたチャンネルに映りません。



放送のないチャンネルを“ --- ”に設定すると、チャンネルボタン(+、 -)で操作するとき、とばすことができます。

NHK衛星放送などのスクランブルのない放送を受信するときの設定です。

有料放送 / 無料放送にかかわらず、BS入力信号を強制的にWOWOWデコーダに経由させます。

BS入力信号は、有料放送時だけWOWOWデコーダを経由し、無料放送時は、WOWOWデコーダを経由しません。

MUSE-NTSCコンバータを使ってハイビジョン放送を見るときに設定します。

M-Nコンバータを接続しないときは、選ばないでください。

5 表示 の項目で、好みの表示内容を◀、▶で入力する (例: NHK)

- 4文字まで入力できます。(例の“NHK”のように3文字の場合は、最初に1文字分スペースを入力しておきます。)

- 入力に使用できる文字は次の40文字です。

「0~9, A~Z, >, <, , _ (スペース)」

◀、▶でスペース()を選び、を押す。

S 7

◀、▶で“N”を選び、を押す。

N 7

◀、▶で“H”を選び、を押す。

NH 7

◀、▶で“K”を選ぶ。

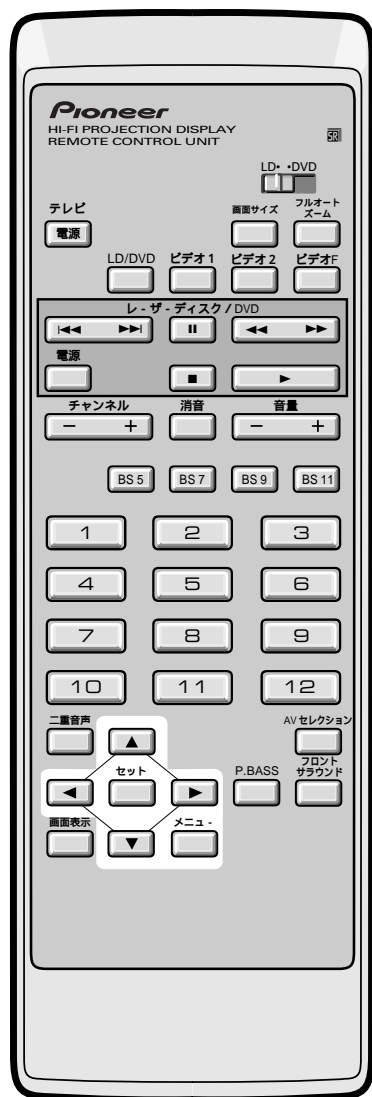
NHK

入力が終わったら、を押して、次の項目を点滅させます。(これで入力が確定されます。)

6 設定が終わったら、を押してメニューを消す。

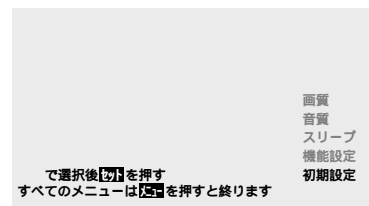
画面の色あわせをする

- テレビを設置した場所によっては地磁気の影響で色ずれをおこすことがあります。テレビの設置後、または画面の色がずれているときなどに必ず色あわせを行なってください。色あわせは、30分以上ご使用になってから行なってください。

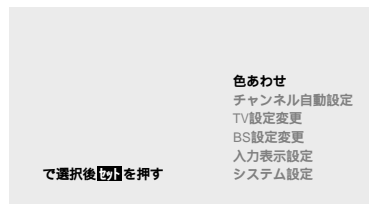


1  を押す

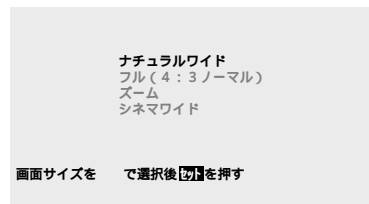
2 ,  で **初期設定** を選び、 を押す。




3 ,  で **色あわせ** を選び、 を押す。



4 ,  で画面サイズを選び、 を押す。



- ナチュラルワイド、フル、ズーム、シネマワイドの4つの画面サイズそれぞれ色あわせを行なってください。
各画面サイズについての詳しい説明は、25ページをご覧ください。

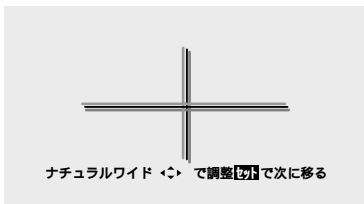
 を押すと、色ずれを確認するための十字パターンが表示されます。

十字パターンが白線のとき



色ずれしていません。セットボタンを2回押して手順9へ進み、周辺の色あわせを行なってください。

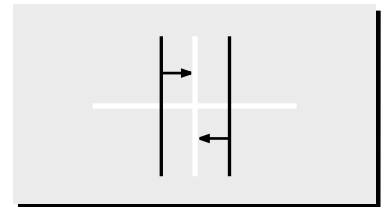
十字パターンが白以外の色に見えるとき
白線の片側に赤や青の線が見えるとき



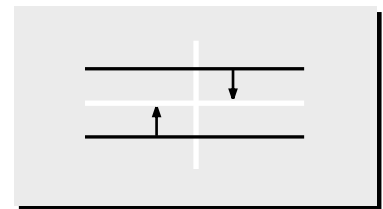
色ずれしているので、手順5にすすみ、調整を行ってください。

5 赤の線を移動させて、白線にする。

、でたて線を動かします。

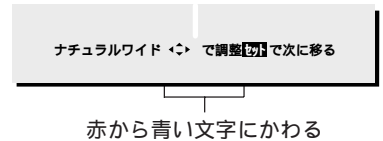


、でよこ線を動かします。



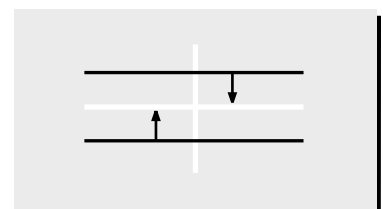
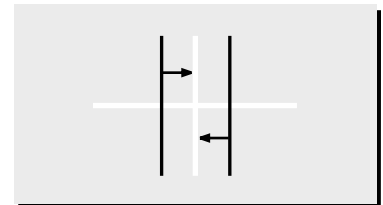
6 を押す。

青の線を調整する画面に切り換わります。



7 青の線を移動させて、白線にする。

手順5と同様に動かします。



8 を押す。

画面の色あわせをする

色あわせ を選ぶと

手順5の十字パターン画面に戻ります。

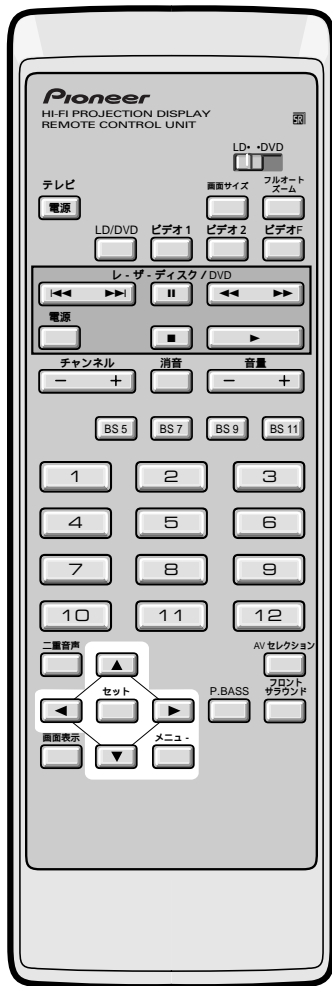
周辺の色あわせ を選ぶと

画面周辺の色あわせをすることができます。

画面サイズの選択 を選ぶと

手順4の画面に戻ります。

他の画面サイズの色あわせができます。



周辺の色あわせ の調整中に約1分以上放置すると色あわせのモードが解除され、通常の画面に戻ります。

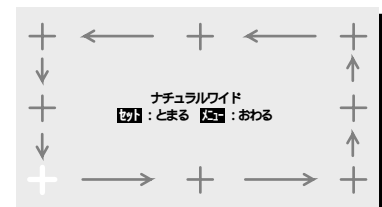
46

<ARA1309>

9 、 で **周辺の色あわせ** を選び、^{セット} を押す。



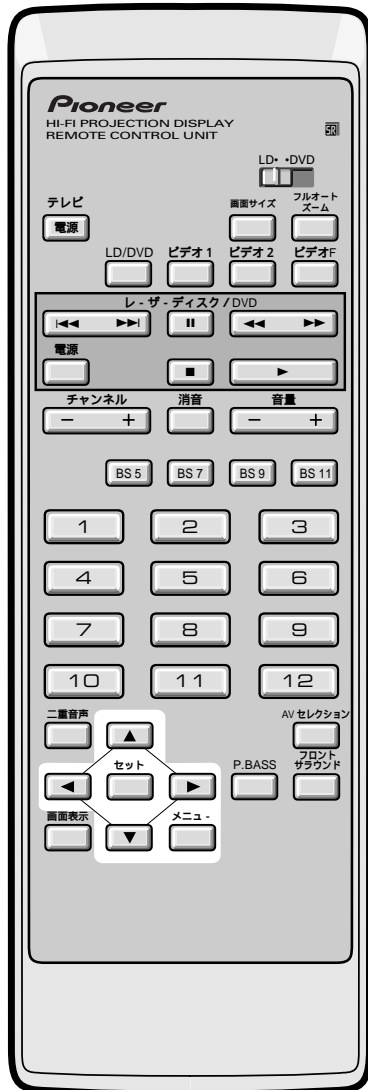
10 調整ポイントを示す十字が順番に移動するので、調整したい箇所にきたら^{セット} を押す。



11 赤の色あわせを、、、 で調整して、^{セット} を押す。



画面の色あわせをする

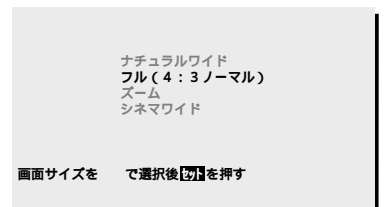


12 青の色あわせを◀▶、▲▼で調整して、
セット
□を押す。



再び調整ポイントを示す十字が順番に移動するので、手順10～12を繰り返して色ずれが最小になるように調整してください。

13 色あわせが終わったら、メニュー
□を押して次に色あわせ
をする画面サイズを選ぶ。

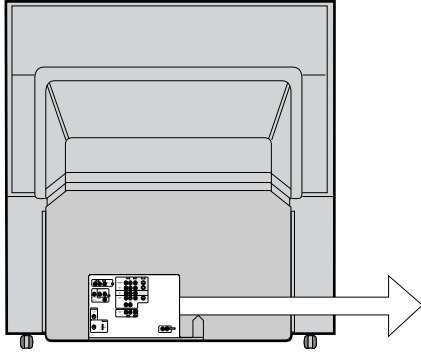


14 手順5～13を繰り返す。

15 調整がすべて終わったら、メニュー
□を押してメニューを
消す。

準備・接続

他の機器との接続



ビデオデッキは本機のビデオ1入力端子と、ビデオ1出力端子を使って接続してください。ビデオ1出力端子には入力切換ボタンで選択した信号が出力されます。

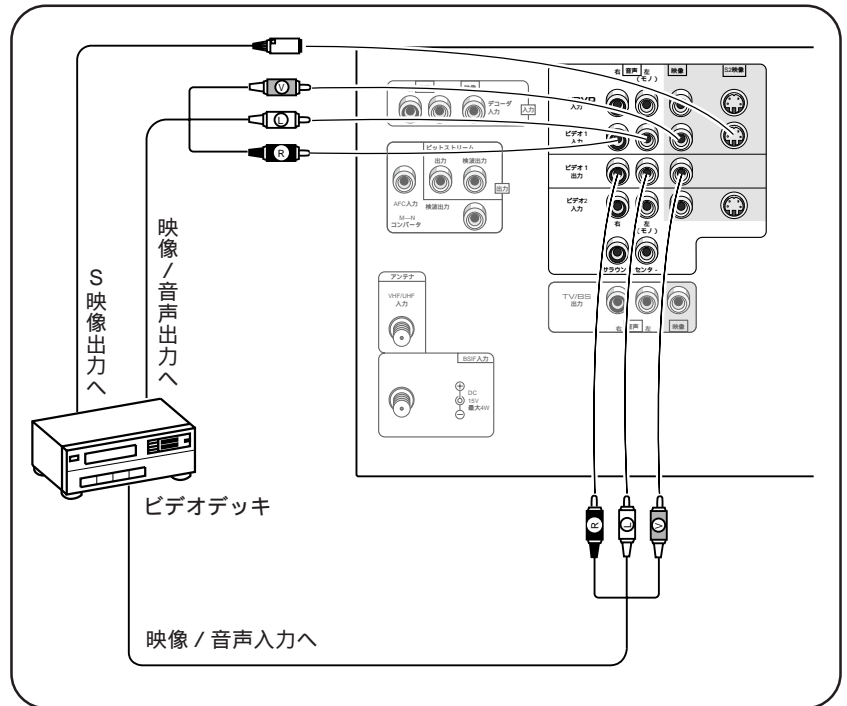
ビデオ2入力端子は、他の映像再生機器を接続します。例えば、2台目のビデオデッキの出力を本機のビデオ2入力端子に接続すれば再生専用機として使えます。

ご注意:

異常発振をおこすことがありますので、1台のビデオデッキをビデオ2入力端子と、ビデオ1出力端子に接続しないでください。

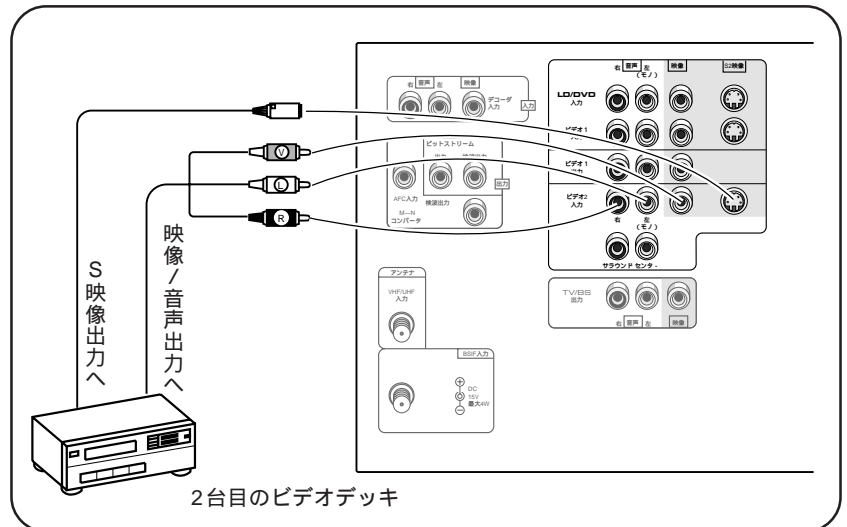
ビデオデッキをつなぐ

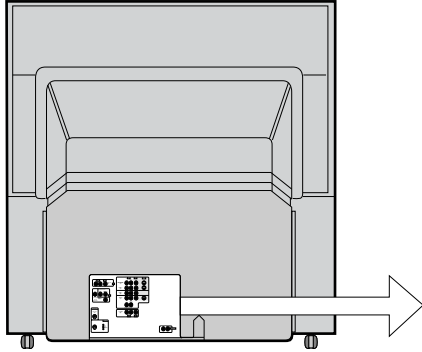
接続は必ず電源を切ってから...



2台目のビデオデッキをつなぐ

接続は必ず電源を切ってから...

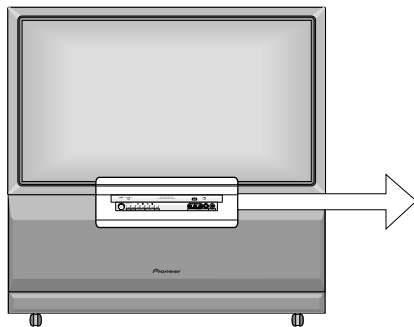
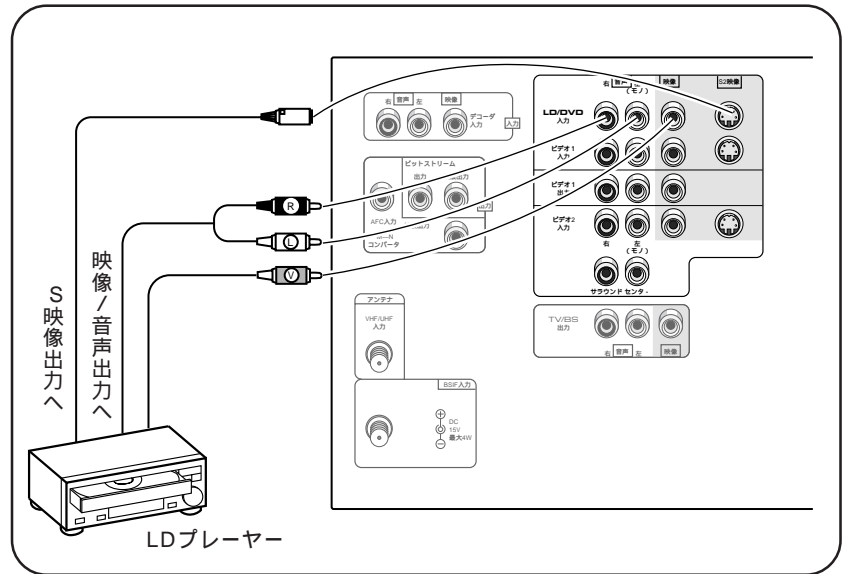




接続したLDやDVDを操作するときは
15ページをご覧ください。

LDプレーヤーまたは、DVDプレーヤーをつなぐ

接続は必ず電源を切ってから...

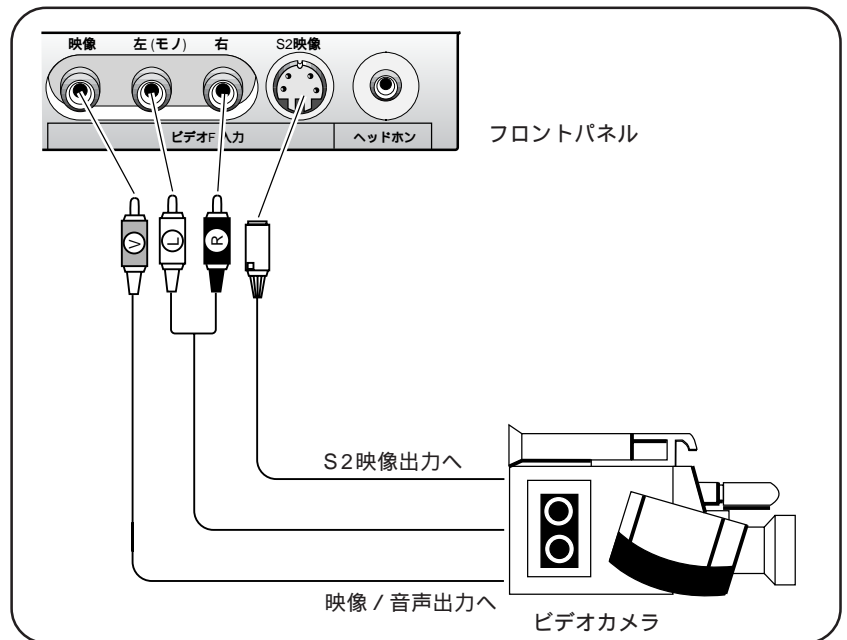


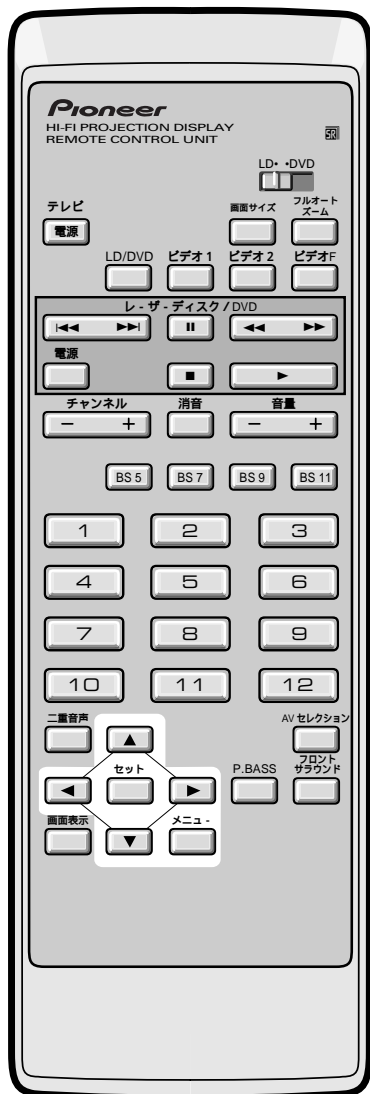
ビデオカメラ、ポータブルビデオレコーダーなどは、前面部のビデオF（フロント）端子に接続できます。
S映像（またはS1映像）出力端子はS2映像入力端子に接続できます。

モノラル音声のビデオカメラを使用する場合
音声-左(モノ)端子だけに差し込みます。同じ音を左右のスピーカーから聞くことができます。

ビデオカメラなどをつなぐ

接続は必ず電源を切ってから...





入力表示を書き換える

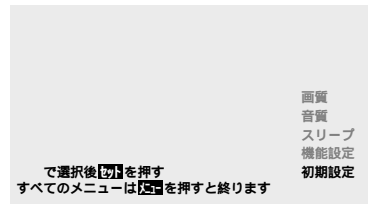
LD/DVDやビデオ1、ビデオ2、ビデオFなどの入力に切り換えたときに画面に表示される内容を、書き換えることができます。

例えば、通常は“LD/DVD”と表示されるところを“DVL-919”のように製品の型番で表示することもできます。(最大8文字)

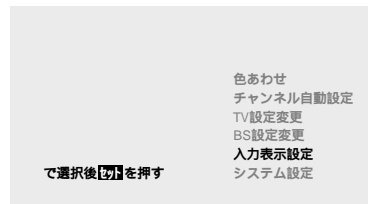
例：“LD/DVD”という入力切換の表示を、“DVL-919”と書き換える場合

1  を押す。

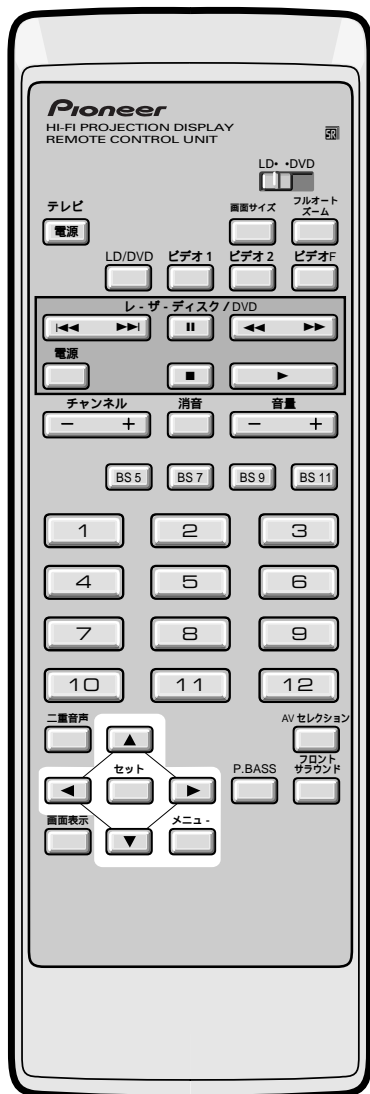
2 、 で **初期設定** を選び、 を押す。



3 、 で **入力表示設定** を選び、 を押す。



使用できる文字は、次の49文字です。
「0～9、A～Z、>、<、_、/、ピ、デ、オ、レ、ザ、イ、ス、ク、_(スペース)」



4 文字を入力する（例：DVL-919）。

8文字まで入力できます。（例の“DVL-919”のように7文字の場合は、最初に1文字分スペースを入力しておきます。）

◀、▶でスペース()を選び、^{セット}を押す

(1文字分)

LD/DVD

◀、▶で“D”を選び、^{セット}を押す。

DLD/DVD

同じように他の文字を入力します。

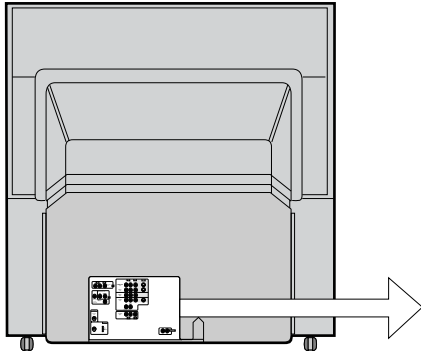
DVL-919

5 他を入力切り換えの表示を書き換える。

▲、▼で選び、手順4のように、文字を入力します。

LD/DVD	DVL-919
ビデオ 1	ビデオ 1
ビデオ 2	ビデオ 2
ビデオ F	ビデオ F
で移動後 で選択	

6 書き換えが終わったら、^{メニュー}を押してメニューを消す。

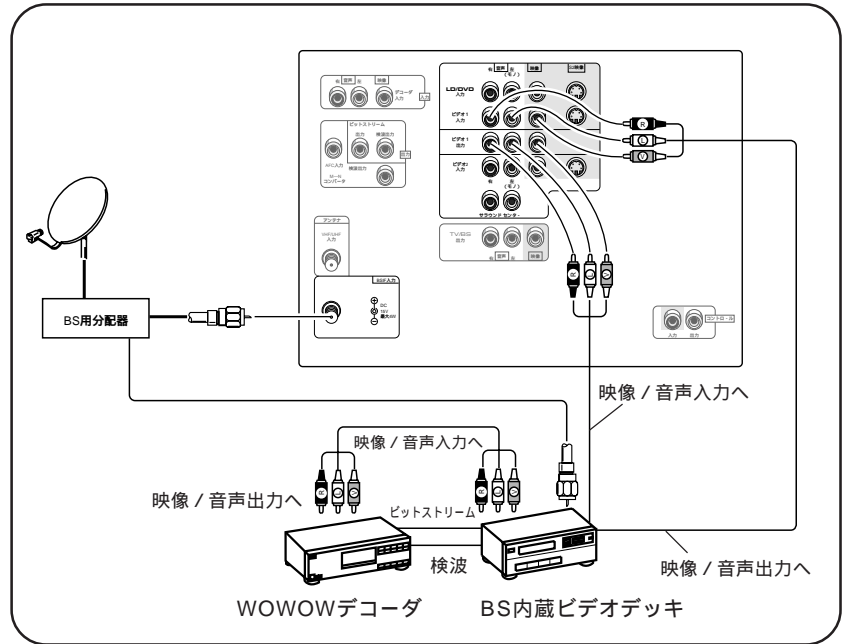


WOWOWデコーダをビデオデッキに接続する場合

ビデオデッキによっては、本機に接続できないものもあります。詳しい接続のしかたや操作方は、ビデオデッキとWOWOWデコーダの取扱説明書をご覧ください。BS用分配器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

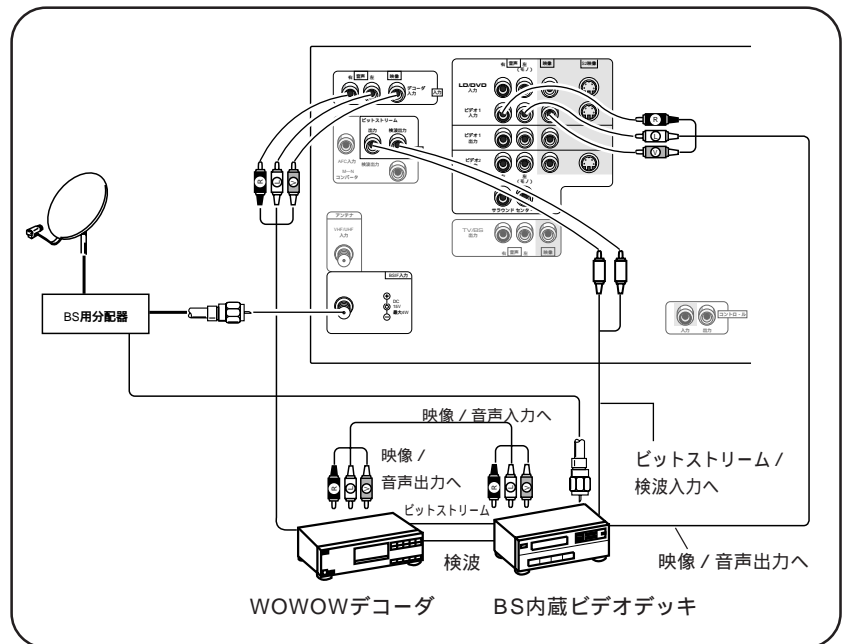
BS内蔵ビデオデッキをつなぐ

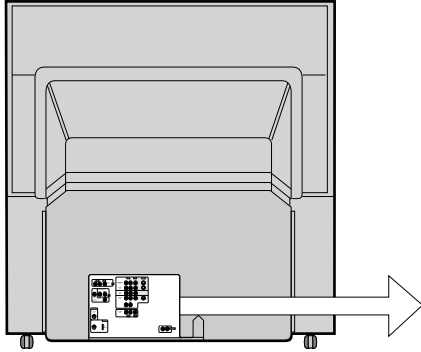
接続は必ず電源を切ってから...



WOWOWデコーダを本機とBS内蔵ビデオデッキとで共用して接続する場合

ビデオデッキによっては、本機に接続できないものもあります。詳しい接続のしかたや操作方は、ビデオデッキとWOWOWデコーダの取扱説明書をご覧ください。BS用分配器の取扱説明書もあわせてご覧ください。





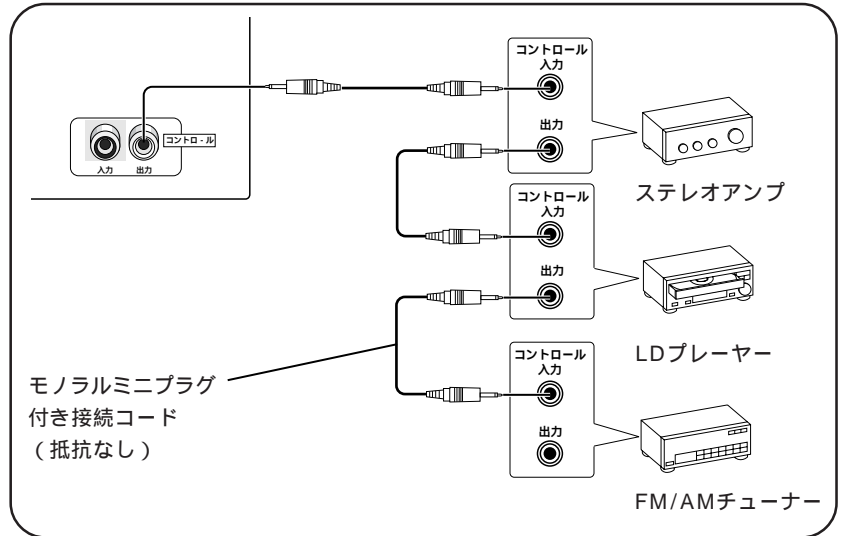
パイオニア[®]マークのついたAV機器のリモコン操作を、本機のリモコン受光部で行えます。

各機器の映像、音声信号の接続を先に終了させてください。

コントロール入力端子にプラグを差し込むとその機器のリモコン受光部は受け付けなくなります。

コントロールコードをつなぐ

接続は必ず電源を切ってから...



モニターテレビとして使う

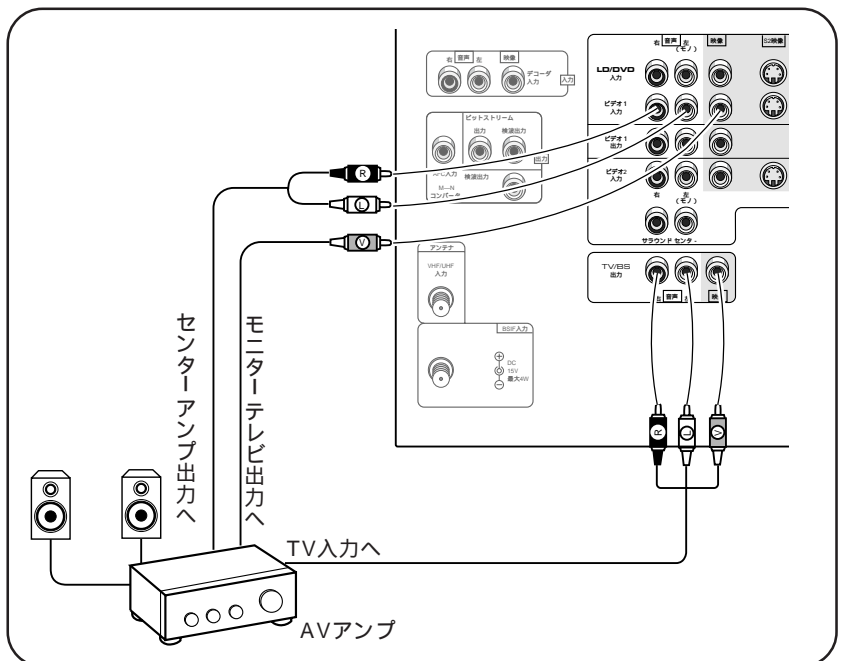
(AVアンプをつなぐ)

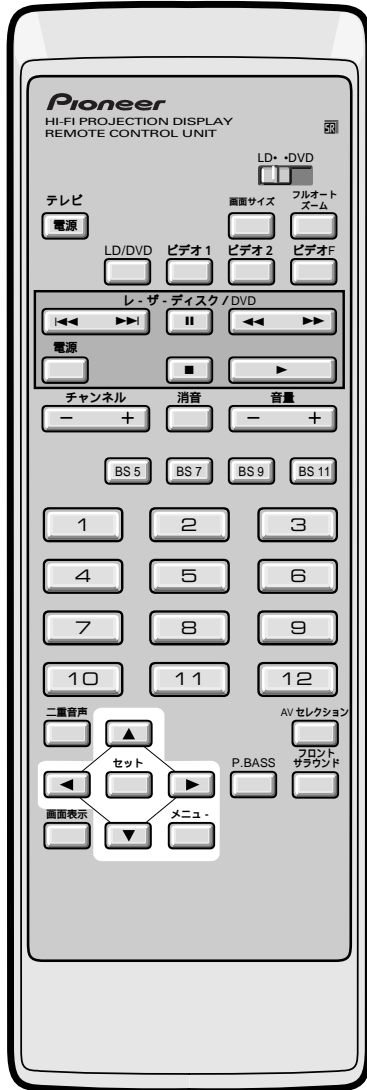
接続は必ず電源を切ってから...

本機をモニターテレビとして使用する場合の接続方法です。本機の入力切換は、自動的に「ビデオ1」に固定されます。

本機をモニターテレビにする設定のしかたは、54ページを参照してください。

* AVアンプに、センターアンプ出力端子がある場合は、本機の内蔵スピーカーを、センタースピーカーとして使用することができます。センターアンプ出力がモノラル(または1ch)のみの場合は、音声左入りに接続してください。



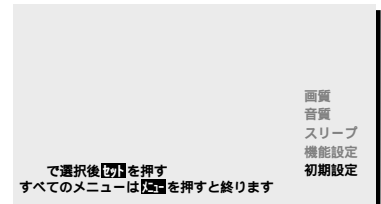


AVアンプをつないでモニターテレビとして使う設定をする

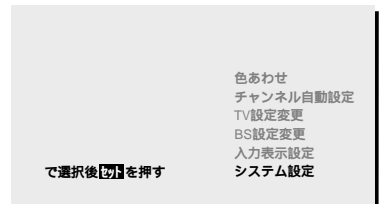
- 本機をテレビ/BSチューナーと、モニターテレビとに分けて使うための設定です。（AVアンプ側で、入力の切り換えや音量の調整などを行ってください。）
- 操作の前に、AVアンプを接続してください。（53ページ）

1 **メニュー** を押す。

2 **▲**、**▼** で **初期設定** を選び、**セット** を押す。



3 **▲**、**▼** で **システム設定** を選び、**セット** を押す。



VHF/UHF、BSをご覧になるときはAVアンプの入力切換をテレビにしてください。チャンネルの切り換えは、本機で行ってください。M-Nコンバータの音声出力と映像出力は、AVアンプ側に接続してください。

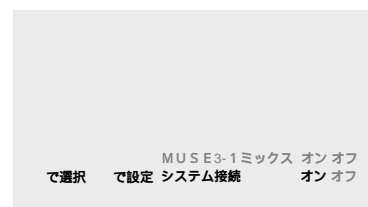
必要なとき以外は、システム接続はオフにしてください。

本機の音量は

本機をセンタースピーカーとする場合：
AVアンプで他のスピーカーの音量を調整した後、本機の音量を調整します。

本機をセンタースピーカーとしない場合：
本機の音量は0（最小）にしてください。

4 ▲、▼ で **システム接続** を選び、◀、▶ で **オン** に設定する。



本機の入力切替はビデオ1に固定されます。オーディオ、ビデオソースの切り換えや、音量の調整などは接続したAVアンプでおこなってください。

5 設定が終わったら、^{メニュー} を押してメニューを消す。

用語の説明

テレビ放送に関する用語

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けます。

チューナ

電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

ワイドクリアビジョン放送

ワイドクリアビジョン放送は、現行テレビジョン放送とも両立性を保ちつつ、画面のワイド化と高画質化などが図られた、新しいテレビジョン放送です。

BS放送に関する用語

デコダ

スクランブルのかかったBS放送のスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

検波

衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダなど）が必要です。

Aモード

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送なみです。4チャンネルのうち2チャンネルを使って独立音声が発送されることがあります。

サンプリング周波数：32 kHz

量子化：14/10ビット 準瞬時圧伸方式

Bモード

BSで送信される音声の種類のひとつ。

CDなみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われます。

サンプリング周波数：48 kHz

量子化：16ビット 直線量子化

独立音声放送

BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送がされている場合があります。これが独立音声放送です。

MUSE-NTSCコンバタ(M-Nコンバータ)

ハイビジョン放送を現行放送方式(NTSC)に変換するための機器です。

画面サイズに関する用語

シネスコサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:1.85になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

映像信号に関する用語

S1映像信号

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の縦横比(16:9)の情報を記録するシステムの名称です。

S2映像信号

S1映像信号に、縦横比4:3の映像で上下に黒帯があるワイド映像(レターボックス)を自動判別する信号を重ね合せた信号をS2映像信号といいます。

三次元Y/C分離回路

本機内部にある回路で、構成されている映像信号を三次元的にY信号とC信号に分離し、より鮮明な画像を再現します。

音場に関する用語

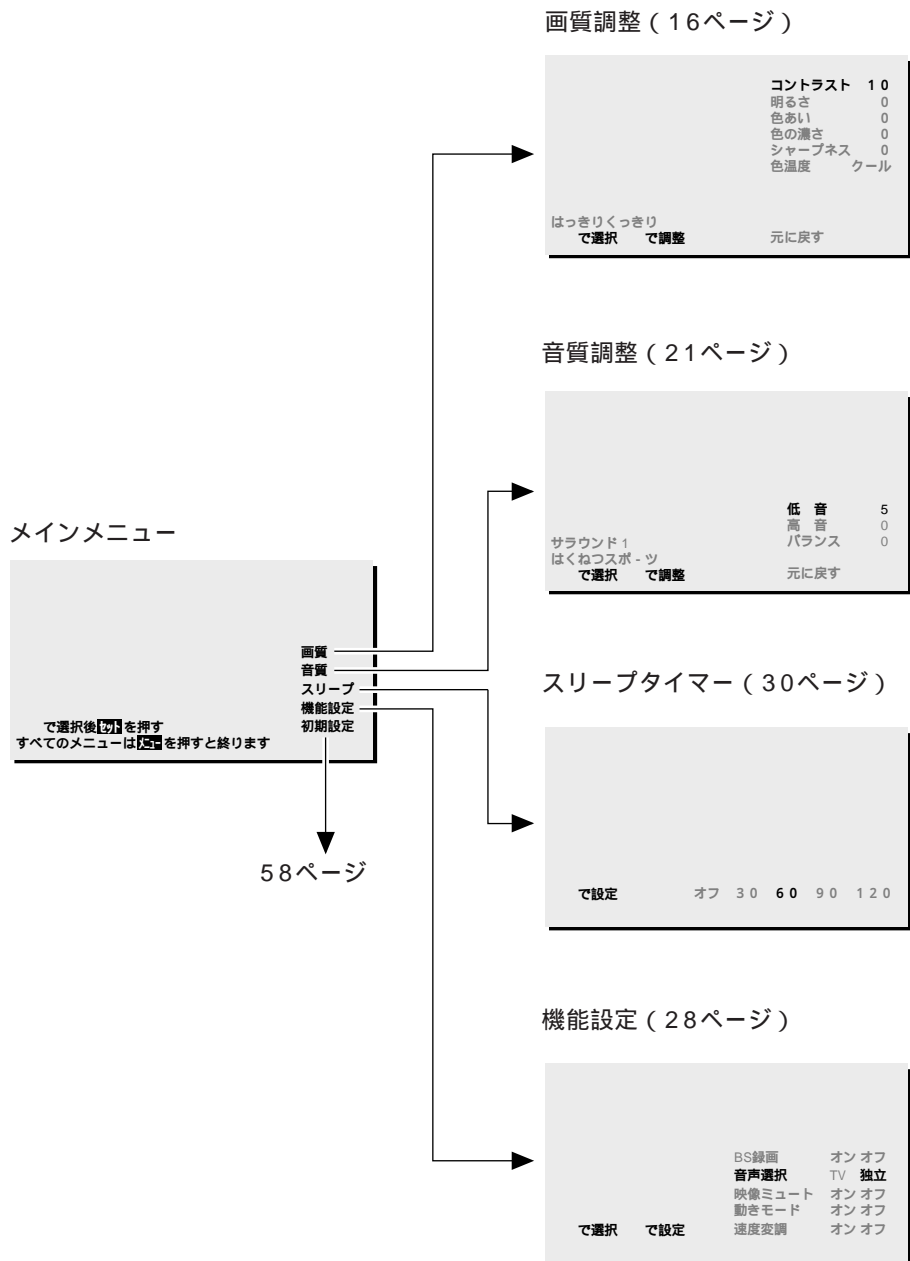
サラウンド

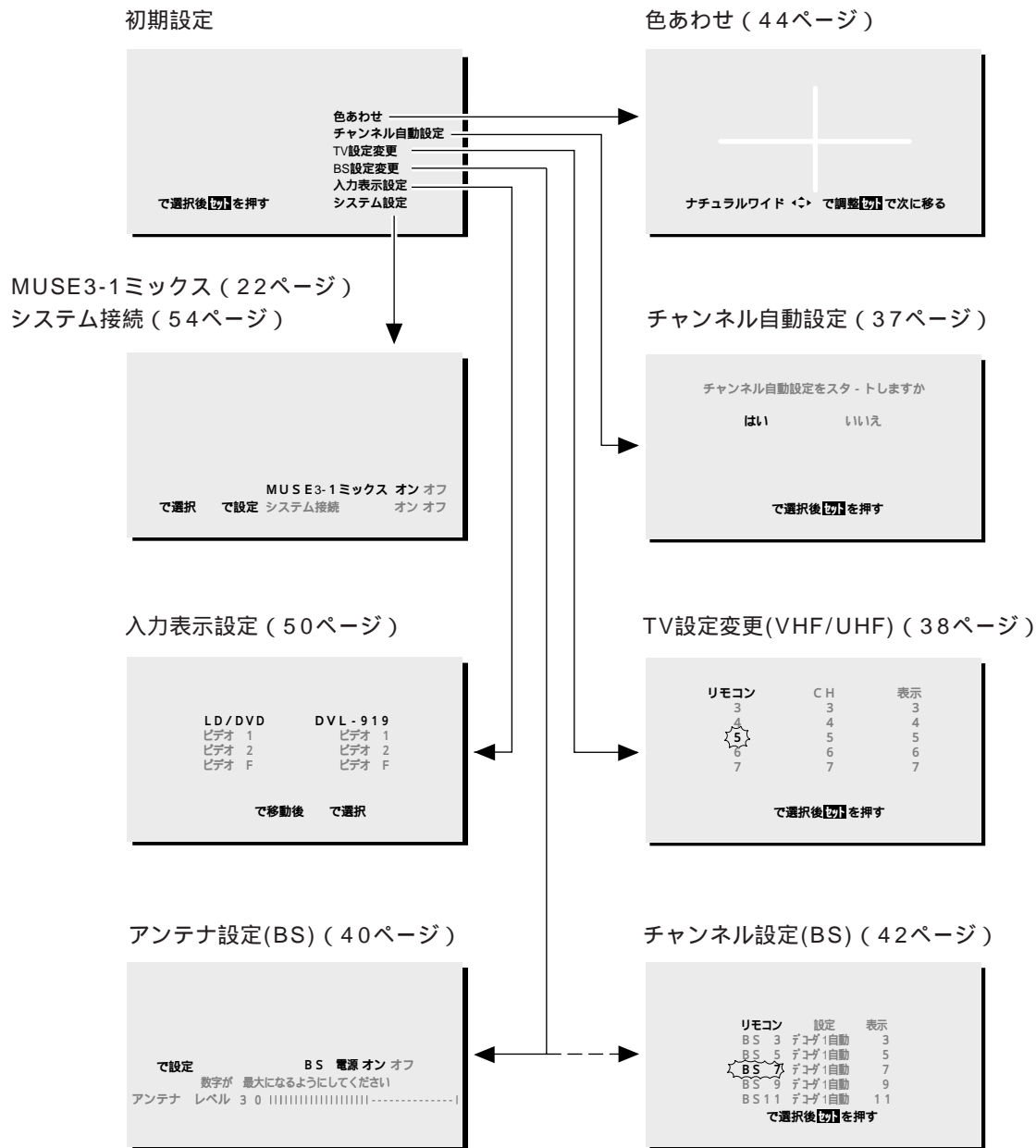
音声に臨場感を出す機能です。

劇場やコンサートホールでは、直接聞こえてくる音(直接音)と、その音が壁などで反射して少し遅れて届く音(間接音)が混ざり合って聞こえてきます。サラウンドはこれを応用したもので、わずかに遅らせた音声信号を混ぜ合わせることで臨場感を出します。

メニュー画面

本機のメニュー画面は、下の表のように展開されます。詳しい説明は、参照ページをご覧ください。



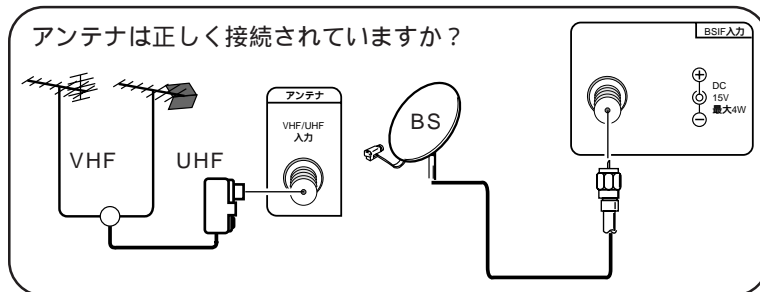


自己診断機能について

本機の動作や、アンテナの接続に不具合があるとき、テレビ画面の下側にお知らせメッセージが表示されます。内容をご確認の上、状態をチェックしてください。

メッセージの内容が
アンテナの接続を確認してください

の場合

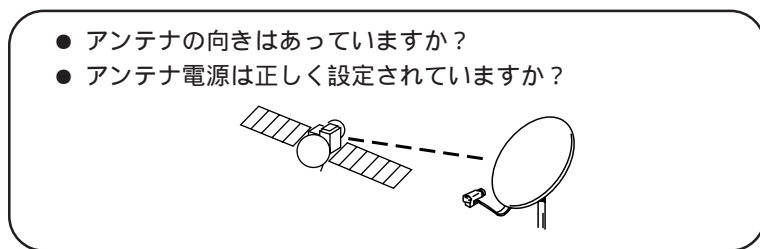


いいえ

正しく接続します。

接続 (32 ~ 34 ページ) をご覧ください。

↓ はい

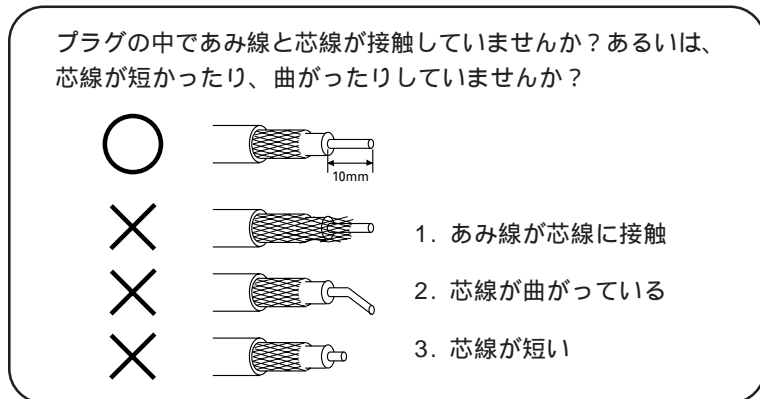


いいえ

- アンテナの向きを正しい方向に調整します。
- アンテナ電源を正しく設定します。

BS の設定変更をする (40、41 ページ) をご覧ください。

↓ はい



いいえ

1. あみ線と芯線を離して接続し直す
2. 芯線を延ばして接続し直す
3. 芯線を長くして接続し直す

接続 (33 ページ) をご覧ください。

リモコンの画面表示ボタンを押したとき、

ヘルプ 11 ~ 23 と表示した場合

お買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションへご連絡ください。ご相談のさいは、メッセージ内容をご連絡ください。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな...？と思っても故障でない場合があります。リモコンの画面表示ボタンを押して、画面下に「ヘルプ00」と表示されるか確認してください。表示されていたら、59ページを参照して、状態をチェックしてください。なにも表示されないときは、下記の表からあてはまる症状をチェックしてください。また、プロジェクションテレビ以外の原因も考えられますので、ご使用のビデオ機器なども合わせてお調べください。チェックしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにご連絡ください。

一般的な症状について

症 状	原 因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグが外れていませんか？● 主電源ボタンは押してありますか？(10ページ)
操作できない	<ul style="list-style-type: none">● 落雷、静電気など外部からの影響により正常に動作しない場合があります。このような場合は主電源を入/切するか、電源コードを抜いて1～2分後に再度差し込んでから操作してください。
テレビ放送が映らない	<ul style="list-style-type: none">● アンテナ線は、正しく接続してありますか？(32、33ページ)● アンテナ線が断線、またはショートしていませんか？● アンテナの向き、他機器との接続は正しいですか？● チャンネルを設定してありますか？(37～39ページ)
画面に「アンテナの接続を確認してください」と表示がでた	<ul style="list-style-type: none">● 自己診断機能(59ページ)をご覧ください。
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">● デコーダやビデオの接続は正しいですか？(35、36、48、49ページ)● デコーダやビデオの操作は正しいですか？(デコ・ダ、ビデオの取扱説明書をご覧ください。)● 入力切替で、見たい映像を選んでいませんか？
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● 消音ボタンがオン(音量表示が赤)になっていませんか？消音ボタンを押してオフにしてください。(11ページ)
入力が切り換わらない	<ul style="list-style-type: none">● システム接続がオンになっていませんか？システム接続をオフにしてください。(54、55ページ)
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none">● 電池の極性(+、-)の向きは正しいですか？(5ページ)● 電池が消耗していませんか？(新しい電池と交換してください。)● コントロール入力端子にプラグが差し込まれていませんか？プラグが差し込まれていると、リモコンの信号を受け付けなくなるので、コントロール接続を確認してください。(53ページ)
画質調整ができない	<ul style="list-style-type: none">● あそびdeゲームがオンになっていませんか？AVセレクションボタンを押して、あそびdeゲームをオフにしてください。(18ページ)
色がおかしい、画面が薄い、または濃い、色がずれている	<ul style="list-style-type: none">● 画質を調整してください。(16ページ)● 部屋が明るすぎませんか？明るすぎる部屋では、画面が暗くみえることがあります。● 「画面の色あわせをする」の操作をおこなってください。(44～47ページ)各画面サイズごとに、画面周辺の色あわせも行なってください。

BS放送に関する症状について

症 状	原 因
BS放送は録画できるが、他の放送が録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ● BS録画をオンに設定していませんか? BS録画をオフに設定してください。(29ページ)
雪が降るような画面(スノーノイズ)が出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 屋外アンテナのケーブルが、切れたり外れたりしていませんか? ● アンテナの向きが変わっていませんか?
BSアンテナを設置したが、放送が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ電源を正しく設定してありますか?(40、41ページ) ● アンテナの接続は正しいですか?(34ページ) ● アンテナの角度や方向は正しいですか?(41ページ) ● スクランブルされている放送はデコーダの接続が必要です。(35ページ) ● デコーダの設定は正しいですか?(42、43ページ) ● 有料放送を見る場合、放送会社との受信契約が必要です。(35ページ) ● 放送衛星と太陽の間に月が入る「月食」や地球が入る「地球食」になると、放送衛星の太陽電池に光が当たらず放送が一時中断します。
一般のテレビ放送に比べ放送の画質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨や雪の影響で電波が減衰し画像にノイズが出たり、映りづらくなります。また、雨が降っていないなくても放送衛星のある方向に雨雲があると影響を受けます。
音が出てこない	<ul style="list-style-type: none"> ● デコーダは接続してありますか?(35ページ) ● 独立音声放送は、WOWOWとは別に受信契約が必要です。
BS放送のチャンネルが切り換わらない	<ul style="list-style-type: none"> ● BS録画をオンに設定していませんか? BS録画をオフにしてください。(29ページ)

故障と誤解しやすい症状について

症 状	原 因
画面が2重、3重になる（ゴースト現象）	● 放送局からの直接電波に近くの高層建築などからの反射波が影響している場合があります。また、放送局が近すぎる場合アンテナから入る電波と本機に直接飛び込む電波が影響している場合があります。
画面にはん点が出る、雑音が出る	● ヘアドライヤー・電気掃除機・電気ドリルなどのモーター機器、自動車・オートバイなどの点火装置、サーモスタットなどの点滅機器、ネオンサイン、送配電線などの放電による妨害電波の影響が考えられます。
画面にしま模様が出る、雑音が出る	● テレビ局、FM局、アマチュア無線、市民無線（簡易無線）など、また、近くのパソコン、テレビ、ビデオ、オーディオ機器などからの電波の混入が考えられます。
電源を入れてしばらくすると「ビシッ」という音が出た	● 周囲の温度変化によって、キャビネットがわずかに膨張、収縮するためきしみ音が出るがありますが、これは故障ではありません。
突然「パチッ」という音がして一瞬電源が切れたり、画が消えたりする。	● 保護回路が働いて電源が一瞬切れました。これはブラウン管の管内放電現象を保護回路によって解決するため故障ではありません。

さくいん

あ	AVセレクション	18
	明るさ	16
	あそびdeゲーム	18
	アンテナ: 接続する(VHF/UHF)	32
	接続する(BS)	34
	アンテナ電源(BS)	40
	アンテナの向き調整(BS)	41
	色あい	16
	色あわせ	44
	色温度	16
	色の濃さ	16
	動きモード	19
	映像ミュート	28
	LD/DVD: 接続する	49
	見る	15
	音質調整	21
	音量ボタン(+、-)	11
か	画質調整	16
	画面サイズ切り換え	24
	画面表示	11
	くつろぎリビング	18
	クリアボタン	8
	高音	21
	コントラスト	16
	コンバータ: 接続	36
	設定	42
さ	サラウンド 1	22
	サラウンド 2	22
	3-1方式サラウンド	22
	自己診断機能	59
	システム接続: 接続	53
	設定	54
	じっくりシネマ	18
	自動設定: 設定変更	37
	VHF/UHF	38
	BS	40
	シネマワイド	25
	シャープネス	16
	周辺の色あわせ	46
	主音声	27
	主電源	10
	シミュレーテッドステレオ	22
	消音	11
	ズーム	25
	スクィーズ	26
	スタンバイ/入インジケータ	10
	スリープ	30
	セットボタン	16
	選択ボタン	16
	速度変調	20

た	チャンネル: 自動設定	37
	設定する(VHF/UHF)	38
	設定する(BS)	42
	チャンネル(+、-)ボタン	11
	調整ボタン	16
	低音	21
	デコーダ(BS): 接続	35
	設定	42
	テレビチャンネルボタン	11
	電源	10
な	ナチュラルワイド	25
	二重音声	27
	入力切り換えボタン	15
	入力表示設定	50
は	ハイビジョン放送	14
	はくねつスポーツ	18
	はっきりくっきり	18
	バランス	21
	ビデオ(1、2、F): 接続する	48、49
	BS: アンテナの接続	34
	初期設定	40
	デコーダの接続	35
	録画する	29
	BS録画インジケータ	29
	BS録画	29
	P.BASS	21
	副音声	27
	VHF: アンテナの接続	32
	チャンネルの設定	37
	フル	25
	フルオートズーム	24、26
	フロントサラウンド	22
ま	MUSE-NTSCコンバータ	36
	MUSE3-1ミックス	23
	メニューボタン	16
や	UHF: アンテナの接続	32
	チャンネルの設定	37
	4:3 ノーマル	25
ら	リモコン受光部	9
	リモコン: 電池を入れる	5
	レター	26
わ	ワイド	26
	WOWOW: デコーダの接続	35
	見る	12

仕様

ディスプレイ部

種類	プロジェクションテレビ
スクリーンサイズ(幅×高さ、対角線)	110.7×62.3、127.03cm
視野角度	水平方向H=140° 垂直方向V=50°
入力端子(AV端子)	リア3系統、フロント1系統
S2映像入力端子(Y/C分離入力)	リア3系統、フロント1系統
デコーダ入力端子	リア1系統
出力端子(AV出力)	ビデオ1出力1系統 TV/BS出力1系統
システムリモートコントロール端子	入力、出力

BSチューナー部

選局方式	デジタルシンセサイザー方式 (BS) 8局プリセット方式
受信チャンネル	BS-1、3、5、7、9、11、13、15
出力端子	検波出力端子×1 ビットストリーム出力端子×1
MUSE-NTSCコンバータ用端子	検波出力端子×1 AFC入力端子×1
入力端子	BS-IF入力端子×1

TVチューナー部

受信方式	NTSC方式
選局方式	デジタルシンセサイザー24局プリセット方式
映像検波	PLL同期検波
受信チャンネル	VHF:1Ch~12Ch UHF:13Ch~62Ch CATV:C13~C38
アンテナ端子(タイプ/インピーダンス)	VHF/UHF1軸:F型接栓/75Ω

アンプ部

実用最大出力 (1kHz両チャンネル駆動、8Ω、EIAJ)	12.5W+12.5W
----------------------------------	-------------

電源部、その他

フロントスピーカー(フルレンジ)	13cm×2
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力(電気用品取締法)	275W
年間消費電力	380kW・h/年 (リモコン電源待機時5W)
外形寸法(幅×高さ×奥行)	124.0×121.3×55.9cm
質量	85kg

付属品

取扱説明書	1
保証書	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	1
リモコン	1
キャスター台座	4
単3形乾電池(R6P)	2
安全上のご注意	1

- 上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

アフタ - サ - ビスについて

保証書について

ご購入時に、保証書にお買い上げの店の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失されたときは、保証期間中であっても有料となりますのでご注意ください。

本機の保証期間はご購入後1年間となっています。
(ただし、ブラウン管のみは2年間です)

修理を依頼されるときは

故障かな?と思ったら59～62ページを見て、もう一度接続や操作に間違いがないかを確認してください。また、異常のあるときはご使用を中止してください。画面にメッセージ(ヘルプ11など、59ページ参照)が表示されているときは、メッセージをメモし、必ず電源コードを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

1. 型名、型番
「ハイファイワイドプロジェクションディスプレイ、SD-P50EX3」
2. 故障の内容「音は出るが映像が出ない」など
画面メッセージ内容「ヘルプ11」など
3. お買上げ年月日「 年 月 日」
4. お名前、住所、連絡先番号
5. ご希望訪問日
6. ご自宅までの道順と目標物(建物、公園など)

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店、またはお近くのサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品についてはご希望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間は

テレビの補修用性能部品の最低保有年数は、製造打ち切り後8年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談は、パイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(I・C)をご利用ください。所在地、電話番号は、付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

お客様相談センター  0070-800-818122

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

(1999年4月現在)

定期点検のおすすめ

アンテナは屋外にあるため、風雨などにより痛みやすい環境で使用しています。このため、アンテナやアンテナ線の金属部分が腐食したりプラスチックなどは変質して徐々に受信状態が悪くなります。アンテナやアンテナ線は定期的な点検をおすすめします。

愛情点検

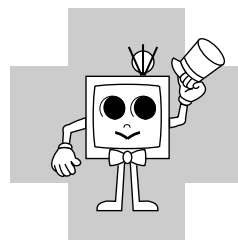


家電品
愛情点検明るいくらし

ご注意

アンテナにかかわるアフターサービスは、本機の保証対象外となります。

- アンテナのアフターサービスは、販売店またはアンテナメカへお問い合わせください。



ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様メモ

- 覚えのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年 月 日	型番	SD-P50EX3



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。テレビの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ヘッドホンをご使用になる場合は、耳をあまり刺激しないような適度な音量でお楽しみください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。